

# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会会議録

日時：令和2年10月30日（金）10：00～11：30

場所：豊明市役所新館1階会議室4・5

出席者

豊明市商工会 酒井委員、名古屋鉄道株式会社 成瀬委員（代理 牧野氏）、経済産業省中部経済産業局 亀井委員、愛知県政策企画局 佐治委員、学校法人藤田学園 才藤委員（代理 都築氏）、学校法人桜花学園 根尾委員、連合愛知尾張東地域協議会 佐藤委員、株式会社中日新聞社 平木委員

合計8名

（事務局）

<配布資料確認>

1. 挨拶

（事務局）

本日は岡本委員、光岡委員が欠席、また、成瀬委員の代理で牧野様、才藤委員の代理で都築様に出席いただいている。

前回から期間も空き、新たな委員もいるので、簡単に自己紹介をいただきたい。

<各委員自己紹介>

ありがとうございました。

変更のあった委員の方には、本来であれば一人ずつ委嘱状を交付するところだが、机上配布としたので確認していただきたい。

任期は前任の委員の残任期間となるので、全委員、令和3年6月29日までとなる。

それでは開会にあたり、根尾委員長よりご挨拶いただきたい。

（根尾委員長）

おはようございます、よろしく願いいたします。

前回の会議から随分経ちまして、本年度は今日が第一回で最後となりますので皆様のご意見をしっかりとこの場で伺わせていただきたいと思います。今年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、皆様の生活も業務も、今まで経験をしたことのない形に激変しておりますが、これからは正しく恐れながら活動はしっかりやっていきたいと考えておりますの

で、宜しくお願い致します。

(事務局)

ありがとうございました。

続いて、市長より挨拶を申し上げます。

(市長)

皆様、愛知県が先にまちひとしごと創生総合戦略を策定されております。立派なもので非常に参考になります。6年前にまちひとしごと創生総合戦略を全自治体が策定する形となっており、豊明市も第1期総合戦略を策定しています。このまちひとしごと創生総合戦略を策定した後、色んな事業に手挙げ方式で国から交付金があるという仕組みとなっておりました。我々豊明市も様々な事業に手を挙げて、実際に様々な事業をやってきております。こちらの委員の皆様それぞれ各界の代表でいらっしゃいますが、それぞれのお立場で直接間接的に事業についてご指導を賜ってきました。本当にありがとうございました。

次は第2期総合戦略を策定していく手続きに入っております。また様々なご指導、ご指摘を受けた状態で、第2期総合戦略へ移行したいと思います。

第2期まちひとしごと創生総合戦略を策定するにあたって、成果指標をそれぞれの事業に紐づけた状態で、その成果指標をどういった形で設定、あるいはどういった目標値をたてるのかそこが肝になっている部分です。それらについて、色々なご指摘を頂きたいのと、今回第1期の総合戦略にはなかった横断的取り組み、この5年間で一気に話が進んだ持続可能な社会を作るためのSDGsの取り組み、そういった視点を取り入れながら第2期総合戦略を策定して参りたいと思いますので、ご意見を頂きたいと思います。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

(事務局)

ありがとうございました。

ここからの議事進行は委員長にお願いします。

(根尾委員長)

それでは、まず傍聴の確認を行う。公開の要領に基づき進めていく。事務局より説明を求める。

(事務局)

<「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の公開に関する取り扱い要領」の説明>

要領に基づき、傍聴者数を5名としていたが、傍聴希望者はなし。

(根尾委員長)

それでは、本委員会は、傍聴者なしとして議題に入る。

議題(1)の説明を事務局より説明を求める。

(事務局)

<議題(1)について説明>

(根尾委員長)

ありがとうございました。

質問や意見はないか。

(平木委員)

計画を策定した時と今では新型コロナウイルス感染症拡大によって状況が変化していると思いますが、この素案について新型コロナウイルス感染症拡大を受けて変更をすることはあるのか。

(企画政策課長)

第2期総合戦略につきましては、特に国の方から政策体系等の指針が示されておりますので、計画は基本的には指針に基づいて進めていきたいと考えている。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応については、個別の事業の中でどのようなやり方をしたらよいのかといったことを踏まえて進めていくように考えている。

(佐治委員)

私どもも、総合戦略を昨年度、今年の3月に策定しましたが、実質は新型コロナウイルス感染症の前に計画が完成しているというところではあります。そのような中で、私どもも前年の丁度このタイミング秋に検証を行っています。データが取れるものは基本的に年又は、年度で1年単位、西暦で言えば2019年または2019年度のデータで取っている。すると、非常に良い数字がいくつかでてくる。

それが今年の春先から新型コロナウイルス感染症でこのような状況になっていくと、全く状況が変わっている。あらゆる物について状況が変わっているというところで、そんな中で月毎や四半期毎に取れるデータだけを拾ってみると、約200のデータのうち、約80のデータが拾えました。約80のデータの対前年度比、例えば、4月から6月で比べてみますと前年の同じ期間の同期比で半分いってれば良い状態で、場合によっては0といってしまうようなものもある。

委員の先生方がいらっしゃって検証をしようとしても、事務局の私どもとしても説明が非常に難しいです。恐らく豊明市の事務局の方々も非常に苦労されているところは察する

ところでは。

そんな中で私どもが説明しているのが、昨年度新型コロナウイルス感染症の拡大前までの結果は良くないものもあったが、総じてみると良かったというところに対して、新型コロナウイルス感染症拡大以降の取れる数字だけをみるとあまりにも違うので、検証になっているのだろうか、私どもも答えが見えないままになっているところでは。

この後、第 2 期総合戦略を策定しなくてはいけない苦労があるところは非常に察するところですが、もし可能であれば月毎に取れるデータ、その辺りを見ながら考えて頂けると良いのではないかと思います。感想めいた話ですが以上です。

(根尾委員長)

ありがとうございます。愛知県の場合は相対的に 2019 年度の新型コロナウイルス感染症拡大前に関して、KPI 等の推移は非常に良く、ほぼ目標を達成でき、8 割方目標が達成できたというような状況であるということですね。

(佐治委員)

8 割方といって良いのか難しい所がありますが、KPI は 5 年間で色んなことに左右されることもあります、相対的に良かったという状態になっています。豊明市さんも全体的に見れば良かったのではないかと思います。

例えば、人口の話でいきますと、合計特殊出生率が 1.8 と国が数字を出していますが、現実どうなのかということと、一方でそれに引っ張られた状況で KPI を作らざるを得ない状況が行政としてある。

その中で、それは未達成だと言われても、非常に辛いところが正直なところでもありますので、その辺りももう少し冷静に世の中の動きを見ながら、全体的に良かったという印象を持っていると私は思っているところでは。

豊明市さんも恐らく全体的には良かった、と言えるのではないかと思います。これは景気が良いなど追い風が吹いていて良かったのか、自分たち市民の方々が努力した結果どうだったかということが、できればそういった所も、一つ一つ見ていけると良いのではないかと思います。

(佐藤委員)

基本的なことの確認をさせて頂きたいのですが、基本目標のところでもットーが掲げられていて、基本目標の 1 や 2 は客観的な数値かと思いますが、基本目標 3 や 4 は恐らくアンケート調査か何かかと想像します。基本目標 3、4 の出所を教えてください。

(企画政策課長)

例えば、基本目標 1 は 8 頁を見て頂きますと、最初に 7 頁の上段に 4 つの基本目標の進

抄が記載されている。

法人市民税額は、客観的に数字として出て来ておりますので、数字で達成状況は達成されているかどうかの比較をさせて頂いている。

8 頁一番下段にあります、市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合、こういったものは我々が毎年アンケート調査を行なっております。無作為抽出した市民の方 2,000 人であったり、あるいは保護者、お子さん、障がい者、企業様に対して調査をした結果です。市民 2,000 人に対しての、若い人たちがどのような回答をしたかという割合になりますのでその時々によって変動がある。

先程、達成できていないと申し上げた市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合については、策定時の平成 26 年度の 48.3%から直近の現状値 46.5%との比較で下がっていると説明させて頂きましたが、途中までは比較的順調にきていた。

アンケートの内容なので、社会的な要因によって変動を受けるといような部分については課題として認識している。

(根尾委員長)

他に意見はないか。

<質問・意見なし>

ないようなので議題(2)の説明に入る。事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

<議題(2)の説明>

(根尾委員長)

ありがとうございます。質問、意見はないか。

(佐藤委員)

基本目標 1 の中で、KPI として①魅力ある職場づくりを促進する、の新規就農者の受入れ事業は第 1 期総合戦略から項目としてあり、第 1 期総合戦略の実績時点で達成しているが、豊明市の中での農業の新規就農者という点と地方創生にどのような意図があるのかを教えてください。

また、第 1 期総合戦略の中で 2 人の方が就農されているが、この方々の年齢、生産品目や第 2 期総合戦略ではどのような生産品目を豊明市の中でやっていこうと思ってるのか分かれば教えてください。

(企画政策課長)

第 2 期総合戦略については、新規就農者に対して国の給付金の給付あるいは農地バンクの要件緩和によって新規就農者を支援していくことを検討している。

(経済建設部長)

新規就農者は年齢が比較的若く、確か 40 代くらいだったかと思う。1 人の方は路地野菜で当初はカリフローレを生産されていたが現在はキャベツ、白菜を主にやりたいというご意向を聞いている。もうお一方はハウス栽培で、確かトマトだと記憶している。

(佐藤委員)

そういった方々は市外から新たに転入されてきた方か。

(経済建設部長)

基本的には市外から豊明市で農地をとという方です。基本的には農地自体が取得できないので最初はお借りして、後は国のお金を活用させて頂いて進めている。

(亀井委員)

基本目標 1 の中で、新規ということで先程ご紹介のあった工業用地の整備を検討とありますが、工業団地整備検討事業についてご教示頂ける部分がありましたら教えて頂きたい。

(経済建設部長)

豊明市では産業用系土地活用ということで柿ノ木工業団地と豊山という豊明市の北部、東郷町と接している所その 2 箇所を検討をしている。

柿ノ木工業団地の整備事業については進捗をして参りまして、現在愛知県企業庁に開発をして頂けるという運びとなっており、今度の日曜日に地権者の皆様に契約のお話をさせて頂くというところまで進んでいる。

企業様に売却できるのは、4 年後くらいを目処に取り組んでいる。

(市長)

丁度今週の月曜日に愛知県の企業庁が開発予定地として公表したばかりで、開発面積は 17ha、分譲地としては 13.100ha。

(平木委員)

子育て世代の転出を抑制すると基本目標に入っていますが、豊明市は高齢者の施策は手厚いと思います。

今、東郷町では大型商業施設が出来たり、日進市では特色のある幼稚園や小学校が出来

たりしている中で、名古屋市にも挟まれていて豊明市は子育て世代や 30.40 代の人達をどのように豊明市に留めておくかのような方向性かお伺いしたい。

(企画政策課長)

第 2 期総合戦略の中にあります、基本目標 3 の中で先程も少し触れさせて頂いたが、唐竹小学校跡地の整備を進めている。この跡地に整備予定の多世代交流施設にお子様がお越しの場所や、そのような機能を付けることで、子育て世代などへの魅力作りを目指している。あるいは施策 2 にあります子どもを安心して産み育てられるまちをつくるということで、放課後子ども教室事業、セーフティプラスワン事業といったいわゆる、子育てがしやすい環境作りや子どもの教育の充実、こういった事業を取り入れて豊明市に子育て世代の方が住んで頂けるようにしていきたいと考えている。

(市長)

補足します。元々豊明市は 50 年程前に一気に人口が増加し住宅地が開発されました。市役所から前後駅、豊明団地に至るところが市街化区域になっており市街化区域の人口密度が非常に高いまちです。開発されつくしているまちです。

色んなアンケートをとると豊明市に住みたいという声は多くあります。名古屋駅にアクセスできるのが前後駅、豊明駅、中京競馬場前駅それぞれから名古屋方面に出ることができ、前後駅は急行が停まり他の 2 駅も準急が停まるので非常にアクセスが良いのです。

しかしながら、人口密度が高いために豊明市にそもそも住む場所がなく、特に新婚世帯の方々が望む住宅が一定程度同じ様な状態で開発された所がない。

一軒一軒古くなった家の建て替えがあり、分譲住宅が 6、7 軒建つというパターンはあるが、新婚世帯の方々は周りに同じような状況の方々が住むまちを望んでいると感じており、地権者の方々を後押しして、11 頁上から 2 段目にある寺池地区の土地区画整理事業が先行して実施している状態です。

これよりも遥かに大きい面積が前後駅の近くで予定地としてある状態で、地権者の方々による土地区画整理事業が進んでいる状況です。

また、開発により住宅地の供給をすることも必要ですが、定住をして頂くためには他の魅力も必要です。

先程事務局が説明した多世代交流施設『交流・まなび・あそび・子育て支援』拠点整備事業は、いわゆる学校へ行く前の子供だけではなく、小学校、中学校、高校生も色んな交流事業、例えば楽器が演奏できる場所など、様々な機能のスペースをとりながら子ども達が豊明市で満足できる施設を造る。

また、豊明市では小学校の全学年で 35 人学級にする方向にある。親御さん達が最も気にされるのは、子どもが過ごす小学校での 6 年間で魅力的かどうかです。これは非常に意識しています。それが定住へとつながる形になってきます。

豊明市は小学校が名古屋市と競合しています。名古屋市の方が土地が高いため豊明市にくる。もっと言えば、日進市や長久手市はどんどん開発されており、名古屋市の方が土地が高く日進市や長久手市の方に人が流れている。

土地については、一定程度市街化区域の面積を増やし住宅地を開発しますが、それだけでは足りず、学校教育としてより充実している状態にならないといけないと思っています。

元々は、子ども達により学校教育を充実したものにするというのは、小中学校を運営する基礎自治体の立場として必要ですが、付随する効果として定住を考えいらっしゃる保護者の方々にも、より魅力的な形となるために35人学級を実現していかなければいけないと意識している。

(根尾委員長)

ありがとうございました。

先程の唐竹小学校跡地の多世代交流施設の中には、子育て支援センターの機能が入るということで、本学も大学の中で子育て支援センターがあり、そのセンター長と豊明市の子育て支援課と既に打ち合わせを行い、一緒になって運営をうまくできないかと言う話し合いを進めている。補足を私からも付け加えました。

(都築委員)

今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響でKPIとして色々なイベントの参加の人数、例えば古戦場まつり開催事業の来場者数などその辺りはどうなっているか。

この2、3年は厳しい状況と思われるがKPIとしてこの厳しい時期を定点として追っていくこと自体は、元々最終ゴールに向かっていく道程として構わないのかについて教えて頂きたい。

また、特に基本目標2の10、11頁にあります2の数値目標、市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数が実績値が302件であるのに対し、目標値が172件となっている理由と、施策3の花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業について金額的に令和元年に5,334(千円)、目標値5,000(千円)となっているがいずれも実績値が目標値を上回っている理由を教えてください。

そもそものKPIとして設定している中で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、この2年、3年間は足取りとしてそれでよいのかどうかを教えてください。

(企画政策課長)

先程のイベント数等の目標値については、総合計画のまちづくり指標、他の指標の目標値を引用しておりますので、そちらを変更することに伴いまして、こちらも必然的に変更していく。

大元となる総合計画の見直しを現在行っており、その数字が確定次第、総合戦略の目標



値を改定する。従って現状、目標値がとても低い表記になっているが、結果的には高い目標値にして目指していくように考えている。

新型コロナウイルス感染症拡大についてですが、基本的には創生事業はまちの賑わいですとかそういった所を目指しているので、現時点で内容として基本的には、イベント等を行うなど、そのような数値目標となっている。

コロナ禍の状況が悪化し、とてもイベントが開催出来ないというような状況になれば、それに代わる手段で活気作りに努めていく必要があると考えているが、現時点では設定としてこのようにしている。

(都築委員)

もう一点、横断的指標については数値目標化しなくてよいという括りの扱いであるのか教えて頂きたい。

(企画政策課長)

16、17 頁の横断的取り組みについては、事業を検討、実施する際に横断的に必要な視点として捉えており、基本目標 1 から 4 の中に既に入っている事業の中で、この横断的視点に該当する事業を再掲しています。

従って、16、17 頁には KPI は設けておりません。例えば、横断的取組 1 の視点 1 のについては、9 頁の一番下の段に記載のユニバーサル就労促進事業を該当事業として再掲しており、個別の事業で、令和 7 年度の目標値を数値化し、管理しているということでご理解頂きたい。

(都築委員)

再掲する一つ一つの項目の足し算で横断的取り組みを全体としてみる。

一つ一つ項目が個別の目標と、横断的取り組みの目標と同じ指標でみるということか。

横断的取り組みは総じて良かったと見ようと思うと、結局個々の指標でしかみないということか。

(企画政策課長)

その通りです。

(市長)

補足です。都築委員の仰られたように、新型コロナウイルス感染症の関連で祭りの在り方が変わる可能性がある。

アフターコロナの社会がどうなるのか見えないので、桶狭間古戦場の観光客数の目標値を増やした状態で R7 年度の目標を掲げていますが、実際のところ例えば J リーグの観客数

が絞った状態にもかかわらず入場券が売れていないとか、阪神甲子園球場で阪神タイガースの試合時は必ず満員の状態になるのですが、ガラガラの状態の試合を私もみたことがないです。

私は阪神甲子園球場の近くで生まれ育ってきたので、有り得ないことが起きている状態で、本当に戻るのかという不安がある。

最初の冒頭のところで佐治委員が仰ったとおりで、先が見えきれないですが、観光事業については根尾先生からご指導を頂きながらやっております、引き続きこれからも宜しく願いしたいと思っている。

アフターコロナの社会を我々が見えきれてない状態で目標値を下げてしまうと、観光ボランティアの方々に祭りの事業を特にやっていただいております、やる気も削がれてしまう状態になるので、今現在としては一旦目標値として高くしているが、新しい数値を入れながらやっていく必要が将来的にはあると考えている。

(根尾委員長)

ありがとうございます。

私も、今の段階で目標値をすぐ変更してしまいますと、本来の目標自体がかわってしまう可能性があるので、きちんとした目標と現状を把握した段階での第二次目標のようなものを持っていければいいのではないかと考える。

(佐藤委員)

基本目標 3 のところで子育てについて労働者の関心が非常に高いところであり、昨今共働き世代が増えてきて女性が結婚・出産した時にも子どもを安心して預けられる施設があることは非常に重要なことであると認識している。

基本目標 3、施策 1 のところで休日保育、延長保育事業についてあげられていますが、企業は産休を取得し、育児休業後復帰する際に 1 年間や延長できて 1 年半という区切りがあるなかで、復帰しようとする際に 4 月に復帰ができれば良いが、期の途中で 7 月、8 月に復帰しようとした際に希望する保育園に入れず、隠れ待機児童という言い方もされますが、そういったところの施策がこれの中には入っておらず、現状豊明市は恐らく 4 月の時点では待機児童 0 といわれていると思いますが、期中の中途半端な時期に入園を希望するような方達が待っているような状況があるのかについて教えて頂きたい。

できればそういったことを指標、KPI としてだして待機児童 0 ということで対応して頂けるとありがたいと思う。その辺りについて教えて頂きたい。

(健康福祉部長)

健康福祉部が担当をしております。ご指摘のようなところで豊明市も同じように待機児

童の問題がある。どのように解消するかというところで、個別の計画の、子ども子育てプランで管理をして市民の皆様に公表をして進行管理を行っている。

働きやすい環境づくりという面で、どのような関連性を持たすかというところだが、ここには確かに記載はなく、豊明市は待機児童解消の為に受入れ枠を広げていくといったことが重要であると考えている。

人口減少社会に向かっていく中で、子どもは減っていてもニーズは拡大しているという局面があるので、確実に応えていくということ、さらに長期には人口減少がくる時にどのように行政として対応するかという問題もあるので、そういった点を含めて豊明市の保育の関係は民営化、民間力のお力添えを頂いて誘致してその枠を広げるという形をとっている。

現実に関ここ数年で民営化を進めており、小規模の保育事業所を南部地域、前後駅より南側辺りに沢山のニーズがあるので、前後駅のすぐ傍にもこの10月に民間保育所を開所した。そのような形で預けやすい環境を確保している。さらには公立の保育の方は比較的手をかけるいけないお子様に来て頂くようにして、民間園の方は多様な受入れ体制を用意してくれますので、選択肢を増やすというような形で今の働いている保護者の皆様にとってメニューとして多様性を持たせていくことを心がけて整備をしている。

(佐藤委員)

計画として他の計画でカバーしている点は理解した。

民間の保育所を利用した時の費用の面や、お子さんを持っている若い世代のご家庭だと、民間企業も今かなり厳しい状況で給与が低い方が多いかと思いますが、そういった中で民間の保育所を利用する際に高い費用だと二の足を踏むというようなこともあると思う。

そういった費用補助等もあるのかと思うが、共働きを前提としたような社会になっているので、行政の方で補助していただけるとありがたいと思うので引き続きよろしくお願い致します。

(市長)

補足します。

国の制度の関係で民間事業者が保育園運営を行った方が、自治体が建設して新たな保育園を作って運営するよりも明らかにコストが安く運営できる制度になっている。このような訳で、市として民営化に進んでいるが、民営化したところで、公立で豊明市の職員が働いて運営している保育園と同じレベルで職員を配置しないと民間保育園として国から補助金はおりにないので、同じレベルの保育園がある状態となっている。

ただ、公立保育園を希望される方が明らかに多く、偏りが希望者としてある状態です。

もう一つ、国道1号線の北側と南側で豊明市の人口はあまり変わらないが、南側に明らかに保育園が少なくキャパシティとしても少ない。南側で拡充をさせていかなければいけ

ないのも確かで、この10月に南側に新しくオープンさせたのもそれが理由である。

佐藤委員の仰るように、重要な指標であるところは確かであり、年度の頭で法的には待機児童は0で、名古屋市と同様に、4月からどんどん待機児童が増えて、この10月以降高止まりをする状態で毎年推移している現状なので、指標として追加する方向で検討する。

(根尾委員長)

他に質問、意見はないか。

私から質問よろしいですか。

先程の説明のなかで、令和7年度の目標値は\*（アスタリスク）まちづくり指標を用いているということですが、5,6年先の目標値が1桁というのは目標値として、本体自体を変えないといけないのでしょうか、違和感を感じるがその点について聞かせて頂きたい。

(企画政策課長)

難易度と申しますか、少ない実績や目標を着実に積み重ねていくことが重要という指標もあり、数字の大小で語れないところが正直ある。そのような指標については、あまりにもかけ離れた数字を目標として掲載することが必ずしも良くないので、このようになっていく。委員長の仰ったことも含め検討する。

(根尾委員長)

他に質問、意見はないか。

ないようなので議題(3)の説明に入る。事務局からの説明をお願いします。

(事務局)

<議題(3)の説明>

(根尾委員長)

ありがとうございました。

質問や意見はないか。

ないようなので本日の議題は終了し、事務局へお返しする。

(事務局)

ありがとうございました。以上で委員会を終了する。

以上

令和2年度第1回 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会  
次第

日時 令和2年10月30日(金)

午前10時～12時

会場 市役所 新館1階 会議室4・5

1. 挨拶

2. 議題

(1) 第1期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告について

資料1-1 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和元年度KPIの評価結果

資料1-2 地方創生推進交付金対象事業令和元年度実績

(2) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

① 第2期創生総合戦略の政策体系について

資料2-1 国の第2期まち・ひと・しごと総合戦略政策体系

資料2-2 第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策体系

② 第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

資料2-3 第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

資料2-4 総合戦略創生事業新旧一覧表

資料2-5 第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略概要(案)

(3) 今後のスケジュールについて

まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事務スケジュール

R2.11月中旬～下旬 素案パブリックコメント

R2.12月 第2期総合戦略策定・公表

(4) その他

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 委員一覧

令和2年10月1日現在

氏名		所属(役職等)	要件	備考
1	岡本 一彦	あいち尾東農業協同組合 豊明基幹支店長	関係機関及び団 体の代表	
2	酒井 克俊	豊明市商工会 副会長	関係機関及び団 体の代表	職務代理
3	成瀬 友晃	名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部計画部計画課長	関係機関及び団 体の代表	
4	亀井 敏之	地方創生コンシェルジュ(愛知県担当) 中部経済産業局地域経済部地域経済課 長	関係機関及び団 体の代表	
5	佐治 幹夫	愛知県政策企画局 企画調整部地方創生課長	関係機関及び団 体の代表	
6	才藤 栄一	学校法人藤田学園 藤田医科大学 学長	学識経験を有する もの	
7	根尾 文彦	学校法人桜花学園 学芸学部 教授	学識経験を有する もの	委員長
8	佐藤 元紀	連合愛知尾張東地域協議会 副代表	関係機関及び団 体の代表	
9	平木 友見子	中日新聞 日進通信部 記者	関係機関及び団 体の代表	
10	光岡 道則	市民公募	公募により選出さ れた市民	

任期:平成30年6月30日から令和3年6月29日まで

# 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 令和元年度 K P I の評価結果

## KPI の評価方法について

○国の評価方法に準じて下記のとおり評価

判定		進捗状況
①	<b>目標達成に向けて進捗している</b>	
	A	数値目標を定めており、現時点で目標を達成している
	B	数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない
	C	数値目標を定めていない
②	<b>現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない</b>	
③	<b>現時点において、統計上実績値の把握が不可能なもの</b>	

※①Cについては、基礎調査等実際の進捗を数値化することが困難であるものなど

※③については、外的要因等により実施が困難なもの、計画策定時にKPI設定を行ったが未実施の事業など



## 基本目標及びK P I の現状について

- 全 KPI の進捗状況

進捗	指標+K P I	全基本目標の指標	全施策の KPI
①	<b>51 項目 (65.4%)</b>	<b>8 項目 (47.1%)</b>	<b>43 項目 (70.5%)</b>
A	26 項目 (33.3%)	5 項目 (29.4%)	21 項目 (34.4%)
B	24 項目 (30.8%)	3 項目 (17.6%)	21 項目 (34.4%)
C	1 項目 (1.3%)	0 項目 (0.0%)	1 項目 (1.6%)
②	<b>27 項目 (34.6%)</b>	<b>9 項目 (52.9%)</b>	<b>18 項目 (29.5%)</b>
③	<b>6 項目</b>	<b>0 項目</b>	<b>6 項目</b>
<b>合計</b>	84 項目	17 項目	67 項目

基本目標 1. しごとと活力創生プロジェクト

～若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる～

進捗	指標+KPI	基本目標の指標	各施策のKPI
①	<b>10 項目 (47.6%)</b>	<b>0 項目 (0.0%)</b>	<b>10 項目 (58.8%)</b>
A	5 項目 (20.8%)	0 項目 (0.0%)	5 項目 (29.4%)
B	5 項目 (20.8%)	0 項目 (0.0%)	5 項目 (29.4%)
C	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)
②	<b>11 項目 (52.4%)</b>	<b>4 項目 (100.0%)</b>	<b>7 項目 (41.2%)</b>
③	<b>3 項目</b>	<b>0 項目</b>	<b>3 項目</b>
<b>合計</b>	24 項目	4 項目	20 項目

基本目標 2. ひとが集うまち創生プロジェクト

～誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる～

進捗	指標+KPI	基本目標の指標	各施策のKPI
①	<b>18項目（78.3%）</b>	<b>4項目（80.0%）</b>	<b>14項目（77.8%）</b>
①A	9項目（39.1%）	3項目（60.0%）	6項目（33.3%）
①B	8項目（34.8%）	1項目（20.0%）	7項目（38.9%）
①C	1項目（4.3%）	0項目（0.0%）	1項目（5.6%）
②	<b>5項目（21.7%）</b>	<b>1項目（20.0%）</b>	<b>4項目（22.2%）</b>
③	<b>0項目</b>	<b>0項目</b>	<b>0項目</b>
<b>合計</b>	23項目	5項目	18項目

基本目標 3. 子どもの学びと育ち創生プロジェクト

～教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる～

進捗	指標+KPI	基本目標の指標	各施策のKPI
①	<b>11 項目 (52.4%)</b>	<b>1 項目 (20.0%)</b>	<b>10 項目 (62.5%)</b>
①A	6 項目 (25.0%)	1 項目 (20.0%)	6 項目 (31.3%)
①B	5 項目 (20.8%)	0 項目 (0.0%)	7 項目 (31.3%)
①C	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)
②	<b>10 項目 (47.6%)</b>	<b>4 項目 (80.0%)</b>	<b>6 項目 (37.5%)</b>
③	<b>3 項目</b>	<b>0 項目</b>	<b>3 項目</b>
<b>合計</b>	24 項目	5 項目	19 項目

基本目標 4. 暮らしの満足創生プロジェクト

～医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる～

進捗	指標+KPI	基本目標の指標	各施策のKPI
①	<b>12 項目 (92.3%)</b>	<b>3 項目 (100.0%)</b>	<b>9 項目 (90.0%)</b>
①A	5 項目 (38.5%)	1 項目 (33.3%)	4 項目 (40.0%)
①B	7 項目 (53.8%)	2 項目 (66.7%)	5 項目 (50.0%)
①C	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)	0 項目 (0.0%)
②	<b>1 項目 (7.7%)</b>	<b>0 項目 (0.0%)</b>	<b>1 項目 (10.0%)</b>
③	<b>0 項目</b>	<b>0 項目</b>	<b>0 項目</b>
<b>合計</b>	13 項目	3 項目	10 項目

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

- 基本目標1 しごと活力創生プロジェクト
- ～若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる～

<基本目標の進捗状況>

指標	策定時 (H26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	現状値 R1(H31)年度	目標値 R1(H31)年度	進捗
法人市民税額	687,361千円	584,111千円	621,426千円	598,023千円	589,317千円	699,370千円	②
起業・創業件数	80件	54件	14件	28件	38件	100件	②
市内就業者のうち市内在住者	1,529人	1,341人	1,486人	1,647人	1,098人	1,775人	②
市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合	48.3%	58.7%	53.1%	53.4%	46.5%	55.8%	②

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策1.地域の経済活動が盛んなまちをつくる

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26 当初値	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	1	新規	後継者育成・マッチング事業	マッチング件数	0	3	3	3	3	20件(累計)	①B
産業支援課	2	新規	起業・創業者支援事業	創業支援事業計画の支援を受けた人(団体)の件数	0	36	31	18	13	50件/年	①B

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26 当初値	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	3	新規	空き店舗を活用した活性化 事業	空き店舗活用補助件数	0	1	0	0	0	2件/年	②
産業支援課	4	新規	市内中小企業の人材育成支 援事業	人材育成支援事業受講者 数(累計)	0	4	4	4	5	20人(累計)	①B
産業支援課	5	継 続	工業経営塾の実施事業	参加者数	20	12	0	0	0	15件/年	②
産業支援課	6	継 続	プロフェッショナル人材等の 就職支援事業	無料職業紹介件数	158	47	70	22	87	170件/年	②
産業支援課	7	新規	企業立地支援事業	新規立地企業数	0	7	9	11	11	10企業 (累計)	①A
産業支援課	8	未	市内居住者雇用奨励制度の 整備事業	新規雇用者数	0	0	0	0	0	20人(累計)	③
産業支援課	9	新規	小規模企業実態調査	経営改善事業者数	0	0	0	0	111	100(累計)	①A
産業支援課	10	継 続	ひきずり鍋の普及事業	参加店舗数	11	11	11	11	11	15店(累計)	②
産業支援課	11	継 続	軽トラ市の開催事業	軽トラ市回数	2	4	13	11	10	4回/年	①A

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26 当初値	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
農業政策課	12	継続	新規就農者の受入れ事業	年間新規就農者数	1	4	2	3	2	2人/年	①A
産業支援課	13	未	「とよあけ道の駅」設置検討事業	計画策定の進捗率	0	0	0	0	0	計画策定	③
産業支援課	14	未	消費喚起プレミアム商品券発行事業								③
産業支援課	15	継続	とよあけブランドづくり開発事業	地域ブランド化した商品数	1	3	13	25	27	15商品 (累計)	①A



豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 2.若い人たちの地元での就労を促進する

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26 当初値	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	16	継 続	職業訓練学校等への入学支 援事業	訓練生数	1	1	0	0	0	2人/年	②
産業支援課	17	新 規	社宅整備等支援事業	年間補助件数	0	2	2	5	4	10件/年	①B
学校教育課	18	継 続	中学生の職場体験事業	職場体験実施事業所数 (延べ数)	216	221	215	207	209	256箇所/年	②
産業支援課	19	新 規	インターンシップ制度支援事 業	受入参加企業、団体数	0	15	0	0	0	10社/年	②
産業支援課	20	新 規	市内企業への就職活動支援 事業	企業合同説明会等開催回 数	0	1	1	2	1	5回/年	①B

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

● 基本目標 2 ひとが集うまち創生プロジェクト

● ～誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる～

<基本目標の進捗状況>

指標	策定時 (H26 年度)	H28 年度	H29 年度	H30 年度	現状値 R1(H31)年度	目標値 R1(H31)年度	進捗
転出者数(年間)	3,281 人	3,069 人	3,497 人	3,302 人	3,485 人	2,996 人	②
転入者数(年間)	3,327 人	3,288 人	3,369 人	3,443 人	3,715 人	3,626 人	①A
桶狭間古戦場関連の観光客数 (年間)	44,000 人	38,926 人	58,684 人	45,160 人	51,303 人	50,500 人	①A
ふるさと納税の寄附金額	92 千円	35,168 千円	21,325 千円	22,626 千円	24,340 千円	50,000 千円	①B
市内のイベント、お店、施設がメ ディアで紹介された件数	123 件	240 件	260 件	418 件	302 件	148 件	①A

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 1.若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
市街地整備 課	21	新 規	住居系市街地の整備促進 事業	前後駅周辺の居住人口 (500m圏内)	5,921	6,121	6,121	6,121	6,121	6,100 人	①A

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
都市計画課	22	新規	同居リフォーム促進事業	補助件数	0	2	6	7	0	30件(累計)	②
都市計画課	23	新規	親との同居・近居購入費補助事業	補助件数	0	70	147	261	286	30件(累計)	①A
都市計画課	24	新規	空き家リフォーム促進事業	補助件数	0	0	0	1	1	10件(累計)	①B
都市計画課	25	新規	空き家対策の検討事業	調査のため成果指標なし							①C
学校教育課	26	新規	Uターン促進事業	入学支援金の貸付給付を受けた学生が、大学等卒業後に市内に定住した人数	0	6	8	17	8	60人(累計)	①B

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 2.とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	27	継続	古戦場まつり開催事業(観光協会事業)	来場者数	30,000	20,000	37,902	30,120	35,480	32,000人/年	①A

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	28	継 続	甲冑製作補助事業(観光協 会事業)	参加者数	30	30	26	30	30	30人/年	②
産業支援課	29	継 続	史跡を活用した観光拠点整 備事業	観光ガイドの利用客数	11,000	17,154	17,155	12,056	12,838	15,000人/年	①B
産業支援課	29	継 続	同上	レンタサイクル、カーシェア を利用した観光客数	0	2	3	36	45	500人(累計)	①B
産業支援課	30	新 規	桶狭間関連商品の開発事業	フォーラム開催数	0	0	1	0	8	1	①A
産業支援課	31	継 続	桶狭間の合戦ウォーキング ルート・拠点等の整備事業	観光関連ウォーキング参加 者数	3,000	1,772	3,627	2,984	2,985	3,500人/年	②

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 3.とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	32	継 続	花の街とよあけの推進強化 事業	講習会等の参加者数	1,000	2,100	2,771	3,020	3,756	2,000人/年	①A

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値	進捗
										R1(H31)	
産業支援課	33	新規	花のふるさと納税事業	ふるさと納税に対する花の送付件数	0	260	99	151	88	250 件/年	①B
産業支援課	34	新規	中京競馬場を利用した花マーケットの開催事業	花マルシェの参加出店数	0	0	2	2	1	10 回/年	①B
産業支援課	35	新規	情報発信事業(観光事業)	観光Webサイト年間閲覧件数	0	0	42,601	55,375	61,998	2 万件/年	①A
秘書広報課	36	新規	ホームページリニューアル事業	年間アクセス数	19 万件	18 万件	20 万件	25 万件	30 万件	36 万件/年	①B
産業支援課	37	新規	イベント創出事業(サミット・シンポジウムの開催)	サミット参加者数	0	0	273	0	0	3,000 人/年	②

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

- 基本目標 3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト
- ～教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる～

<基本目標の進捗状況>

指標	策定時 (H26 年度)	H28 年度	H29 年度	H30 年度	現状値 R1(H31)年度	目標値 R1(H31)年度	進捗
0～14 歳の子どもの数	9,749 人	9,052 人	8,964 人	8,789 人	8,732 人	10,011 人	②
豊明市の出生率(人口 1,000 人に対する出生数)	8.1 人	8.0 人	7.7 人	8.0 人	8.0 人	8.8 人	②
合計特殊出生率	1.42 人	1.45 人	1.38 人	1.46 人	1.31 人	1.53 人	②
子育てが楽しいと思っている市民の割合	84.5%	73.2%	84.5%	81.6%	83.4%	88.8%	②
職場で働きやすいと思っている女性の割合	35.4%	35.5%	38.9%	42.6%	50.0%	45.4%	①A

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 1.子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
保育課	38	新規	病後児保育事業	病後児の預かり登録人数	0	141	235	364	463	200 人(累計)	①A

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
子育て支援課	39	新規	ネウボラ事業	支援プラン作成件数	0	31	19	13	60	100件/年	①B
保育課	40	新規	休日保育、延長保育事業	18:30までの土曜日延長保育実施園数	0	79	100	100	100	100%	①A
子育て支援課	41	新規	産後ケア事業、産後健診事業	産婦健診助成事業による受診率	0	77.5	98.6	100	100	95%	①A
子育て支援課	42	継続	不妊治療への助成事業	不妊治療助成件数	64	52	53	55	63	65件/年	②
保育課	43	未	駅前での子育て世代支援事業	前後駅前での保育施設数	0	0	0	0	0	1	③
保育課	44	継続	社会参加への支援事業	非定型的保育の利用延べ人数	304	634	708	560	437	960	①B
子育て支援課	45	継続	男性に特化した子育て講座事業	妊娠期子育て期の親向けの教室(マタニティクラス)参加者のうち男性の占める割合	29.6	34.5	41.2	35.9	30.7	35%	①B
子育て支援課	45	継続	男性に特化した子育て講座事業	講座の開催回数	0	0	0	0	0	1回/年	②

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	46	未	企業への啓発事業	広報及びHP、チラシ等によるイクメン・イクボス推進PR回数	0	0	0	0	0	4回/年	③
産業支援課	47	未	婚活支援事業	婚活イベント参加者数	65	0	0	0	0	400人(累計)	③

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 2.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
生涯学習課	48	継続	放課後子ども教室事業	実施校数	5	5	6	7	8	9校	①B
生涯学習課	48	継続	放課後子ども教室事業	ボランティア数(人・団体)	18	39	13	13	7	40人(団体)	②
学校教育課	49	新規	土曜学習実施事業	土曜学習参加者人数	0	88	84	75	81	60人/年	①A
学校教育課	50	新規	英語活用能力アップ事業	イングリッシュキャンプ参加者人数	0	10	29	27	57	40人/年	①A



豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
学校教育課	50	新規	英語活用能力アップ事業	延べ参加人数	83	76	56	114	0	138人/年	②
生涯学習課	51	継続	地域の特性を生かしたスポーツ・文化講座の開設・充実事業	スポーツ教室受講者数	508	495	476	518	501	530人/年	②

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策3.女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	52	新規	女性活躍推進セミナーの開催事業	セミナー等参加者数	0	69	69	69	69	20人(累計)	①A
保育課	53	新規	女性の復職支援プログラム事業	プログラムを利用して復職した人の数	0	1	2	2	0	40人(累計)	②

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

- 基本目標 4 暮らしの満足創生プロジェクト
- ～医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる～

<基本目標の進捗状況>

指標	策定時 (H26年度)	H28年度	H29年度	H30年度	現状値 R1(H31)年度	目標値 R1(H31)年度	進捗
医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	49.6%	54.9%	56.2%	49.1%	63.9%	58.9%	①A
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	59.3%	59.8%	60.3%	60.7%	62.1%	66.5%	①B
自分達の考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合	11.1%	17.7%	13.4%	12.5%	16.1%	22.2%	①B

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 1.市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
健康長寿課	54	継続	いきいき笑顔ネットワーク事業	ICTで情報共有できている患者(高齢者)の数	392	575	660	680	727	600人(累計)	①A
健康長寿課	55	新規	医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業(けやきいきいきプロジェクト事業)	高齢者等の相談件数	0	831	1,479	1,064	1,144	500人/年	①A

<施策ごとの重要業績評価指標（KPI）の進捗状況> 施策 2.自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

豊明市総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標（KPI）令和元年（H31）度実績及び評価結果

担当課・室	No.		事業名	KPI ※事業実施による成果指 標(アウトカム)	H26	H28	H29	H30	R1(H31)	目標値 R1(H31)	進捗
産業支援課	56	新規	駅前賑わい創出事業	マルシェの参加出店数	0	14	27	45	64	80店(累計)	①B
市民課・市役所出張所	57	新規	前後駅周辺の都市交通機能、住民サービス機能、市民交流機能等の充実事業	証明等交付件数のうち駅前市役所出張所での交付割合	0	8	8	8	8	20%	①B
産業支援課	58	新規	駅前活性化事業	パルネス来場者数	1,624千人	1,496千人	1,447千人	1,513千人	1,391千人	1,800千人/年	②
子育て支援課	59	継続	医療施設の充実事業	小児科、産婦人科の施設数	3	5	5	5	5	5	①A
企画政策課	60	新規	地域公共交通の利便性向上事業	ひまわりバス利用者数	15万人	17万人	18万人	18万人	16.7万人	17万人/年	①B
防災防犯対策課	61	新規	コンビニAED設置事業	24時間営業のコンビニのAED設置率	0	100	100	100	100	100%	①A
市民協働課	62	継続	まちづくりNPO支援事業	年間支援件数	6	11	10	11	11	16件	①B
環境課	63	継続	再生可能エネルギー推進事業	エネファーム(燃料電池)システム導入補助件数	1	20	40	60	15	50件(累計)	①B

## 地方創生推進交付金対象事業令和元年度実績

### 高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ（仮称）」事業 (地方創生推進交付金 (H30年度～R2年度))

#### 1 事業概要

高齢者等お出かけに不便を感じている住民の生活維持と健康増進を図るため、お出かけ目的と目的地への足の確保をセットにした、オンデマンド型乗合タクシー事業を実施する。オンデマンドライドシェアのシステム(車両の位置から予約乗降場所を最短かつ合理的にまわるルートと乗降場所への到着予想時間を割り出し、車両に搭載したタブレットにデータ転送するシステムで、アイシン精機株式会社が自費で開発済み。)とその管理及びオペレーターをアイシン精機株式会社が整備する。タクシー事業者は、ジャンボタクシー車両(本市が所有し貸与)に搭載したタブレットのナビゲーションに従い、予約した住民を乗り合わせて目的地に送迎する。乗車場所は、地域のゴミステーションなど高齢者等の移動の負担にならない地点とし、目的地は、協賛企業(病院、薬局、フィットネスクラブなどヘルスケア関連を想定)や駅・市役所などの交通拠点、スーパーなど生活に必要な店舗とする。

#### 2 KPIの推移

	H30年度末 目標	H30年度末 実績	R1(H31)年度末 目標	R1(H31)年度 実績	R2年度末 目標
年間利用人数	2,400人	41人	12,400人	10,013人	20,400人
協賛企業数(累計)	10社	31社	15社	57社	20社
利用登録者数(累計)	400人	751人	2,400人	1,682人	3,800人
利用登録者のうち、お出かけしやすくなったと感じた人の割合	50%	50%	60%	62%	67%

#### 3 事業の実績及び評価

本事業の実施にあたり、本市の新たな交通モードとして全国に展開していくことを考えたときに、他自治体でも起こりうる既存公共交通との共存について、交通事業者が互いに敵対するのではなく、「高齢者の積極的な外出」という観点において共栄できるルールづくりのため、運行計画を策定。その際、市内各事業者間での調整に時間をかけたため、当初は2019年1月からの開始予定であったものが、2019年3月からの事業開始となったため、年間利用者数及び利用登録者数のKPIは未達成となった。一方で、2019年3月までに、アイシン精機、スギ薬局との協働により、協賛企業となる市内事業者に対する事業内容の周知及び協賛依頼や、町内会単位での説明会の開催による利用対象者への周知を徹底して行った結果、協賛企業数のKPIは達成となった。

#### 4 今後の展望

本事業の運行車両について、上限台数が当面2台ということが決定し、1日あたりの運行本数に限界があることから、今後利用者数の増加を目指して「乗合率」を高めていくことを重視し、本事業を進めていきたい。そのためには、利用者のお出かけ目的の創出が必要不可欠のため、その目的づくりについて協議を進めていき、利用者増につなげていきたい。

### 駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業 (地方創生推進交付金 (H30年度～R2年度))

#### 1 事業の概要

駅前賑わい創出「エキカツ」を核として、駅を活用し、市民の活躍の場を提供し、豊明市全体の活性化を図り、市外に対して豊明の個性・魅力を知ってもらおうと同時に、市内向けにはシビックプライドを刺激し向上させることで、豊明市が選ばれるまちになるための事業実施を行う。前後駅前活性化を契機に、賑わい創出を市内全体への経済循環及び新たなビジネスの創出に繋げるという駅周辺機能充実による中心商業地域の活性化、市内経済活性化を目指す施策を実施する。

#### 2 KPIの推移

	H30年度末 目標	H30年度末 実績	R1(H31)年度末 目標	R1(H31)年度 実績	R2年度末 目標
駅前周辺での飲食店の出店 (事業内での講習会参加者からの出店を検討)	0件	0件	1件	0件	4件
市内飲食店等への誘導施策利用者による飲食店への経済循環	0円	88千円	300千円	60千円	400千円
駅前広場の利用率	15%	1%	2%	0%	2%

#### 3 事業の実績及び評価

市内飲食店等への誘導施策の実施にあたり、マイクロバスを活用した市内飲食店への交通手段の確保を試みたが、誘導システムのPR不足等により、利用者に浸透しなかったことが考えられる。

#### 4 今後の展望

市内飲食店等への誘導施策について、タクシー業との連携・マイクロバスの活用について、引き続き検討をする。また、PR不足の解決に向けて、HPの随時更新やSNSの活用、ポスター掲示等を行っていく。駅前広場の利用率を向上させるために、申請要件の緩和、利用可能団体の拡充等、関係部署との協議を進める。

## 花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト（地方創生推進交付金（R1（H31）年度～R3年度））

### 1 事業概要

事業目標は、豊明に「花マルシェ」というイメージの定着を図り、足を止めてもらえる街にすることで交流人口を増やし、地域経済を活性化することにある。市民を主体とした新組織を発足し、市民参加型の事業を展開、情報発信することでシビックプライドの醸成及び花マルシェ商品の消費拡大を目指す。

花商品の開発として、エディブルフラワーを中心に、市内事業者が行い、「花の街」を印象付けていく。また、販路開拓では、市内外への開拓を実施し、消費拡大を目指す。主に名古屋を中心に都市部で開催されるイベント等での販売で、知名度向上とブランド化を図る。1年目は愛知県内、2年目は首都圏、3年目は空港等のインバウンドと商圏を広げる。メインイベントとして愛知豊明花き地方卸売市場の一部を一般開放し、「とよあけ花マルシェ」を開催。花の購入や体験イベント、花マルシェ商品を販売し、リピーターの獲得を目指す。子供の情操教育に「花」を取り入れ、花に触れる機会を増やし、豊明市と花の関わりについても次世代へつなげる。また、豊明市観光協会と連携し、SNSの活用や、プレスリリースを欠かさず行い、さまざまなメディアに取り上げてもらうことで、花の街豊明をPRする。

### 2 KPIの推移

	R1（H31）年度末 目標	R1（H31）年度末 実績	R2 年度末 目標	R3 年度末 目標
とよあけ花マルシェ商品の販売金額	200 千円	5334 千円	500 千円	500 千円
豊明産エディブルフラワーの出荷金額	50 千円	400 千円	150 千円	300 千円
とよあけ花マルシェイベントの市外からの参加人数	525 人	1,182 人	625 人	725 人
関係人口数（イベント運営者数＋豊明市の花に関連するSNS発信者数）	220 人	123 人	250 人	350 人

### 3 事業の実績及び評価

R1年度は、とよあけ花マルシェの知名度向上のため、折込チラシやフリーペーパーを活用したことで、市外からの参加人数や関係人口の増加につなげることができた。R2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため4月～9月にかけてのイベント開催が難しく、10 月以降のイベント開催や、屋外イベントへの出店を計画し市外からの参加人数や関係人口の増加を目指す。

### 4 今後の展望

市民主体の独立した団体として活動できるように育成を行うとともに、各事業部からリーダーを選出し、市民と市内事業者が連携することで、市内外のイベントでの出店時の手伝いや、消費者目線による商品開発の助言で売り上げ促進へとつなげる。SNSにおいては市民による発信で花マルシェ商品の知名度アップを図り、継続的に花関連商品の販売・地域経済の活性化を図っていく。

## マチぐるみで雇用定着を支援するコミュニティ・リクルーティング・プロジェクト（地方創生推進交付金（R1（H31）年度～R3年度））

### 1 事業の概要

豊明市はベッドタウンとして発展してきた経緯もあり、市内在住者の市内就業者数が少なく、消費流出に伴い市民の市外流出が懸念されている。また、雇用対策として雇用者の市内定着を支援し、豊明市に愛着を持ち市内定住に繋げることが課題となっている。

そこで、東海地区では初の実施となるマチぐるみで雇用定着を支援するコミュニティ・リクルーティング・プロジェクト「マチリク」を核として、企業への雇用定着支援事業を実施する他、新入社員向けの支援を行い、「地域同期」の形成を図る。雇用の定着実績を構築し雇用定着優良企業としてブランド化を図ることで、大学・高校が安心して就職を勧める事のできる市として、県内雇用促進、I ターン、U ターン等の安定的に雇用が確保できる施策を実施する。

### 2 KPIの推移

	R1（H31）年度末 目標	R1（H31）年度末 実績	R2 年度末 目標	R3 年度末 目標
本事業による研修受講者の移住・定住者による住民税の納付額	120,000 円	0 円	360,000 円	600,000 円
本事業による研修受講者の定住件数及び市内在住者の新規雇用者数（研修受講予定者に限る）	1 人	0 人	2 人	2 人
アンケート調査において、地域同期の形成により職場の課題解決に繋がったと回答した社員の数	5 人	2 人	10 人	20 人
雇用対策協定連携の学校数	2 校	0 校	2 校	2 校

### 3 事業の実績及び評価

企業を超え、同じ研修を受けることにより地域で働くという仲間意識を持ってもらえるよう、市内中小企業で採用された社員が一同に会し、入社前研修から採用後 6 カ月研修まで計 3 回の研修を実施した。R1 年度の KPI が未達成となった理由としては、市外から採用された者で構成され、移住者がいなかった。また、研修以外での交流が限られており、相互での相談等の機会が少なかったことが挙げられる。

### 4 今後の展望

R1 年度の KPI を踏まえ、R2 年度では本事業によって企業を超えた充実した社員研修が受けられることや企業に社宅整備支援補助金の制度の周知をすることで、新規雇用者の増加、市外からの移住促進を図り、市内定住へ繋げる。また、定期研修以外でも受講者を主催として意見交換会を開くことを促し、地域同期の形成をさらに進めていく。さらに、雇用対策協議会が主催の地元企業就職説明会の周知で学校に訪問した際、当事業に参加している企業について、学校への PR を進めていく。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、従来通りの研修ができない状態にあるが、実施期間を延長、感染予防対策を徹底し、リモート等を応用して、「三密」状態にならないよう調整を図りながら研修を実施する。

# 第2期「総合戦略」 <第2期「総合戦略」の政策体系>

目指すべき将来

将来にわたって  
「活力ある地域社会」  
の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育て  
の希望をかなえる

◆ 結婚、妊娠、子供・子  
育てに温かい社会の実  
現に向かっていて考  
える人の割合、50%

魅力を育み、  
ひとが集う

○ 地方に住みたい希望の  
実現

地域の外から稼ぐ力を  
高めるとともに、  
地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した  
地域をつくる

「東京圏への一極集中」  
の是正

◆ 地方・東京圏の転出入均衡

基本目標

主な施策の方向性

横断的な目標

## 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

○ 地域の特性に応じた、生産性が高く、  
稼ぐ地域の実現

◆ 地方における若者を含めた就業者増加数  
100万人（2019年～2024年）

○ 地域資源・産業を活かした地域の競争力強化  
○ 専門人材の確保・育成

○ 安心して働ける環境の実現

◆ 若い世代（15～34歳）の正規雇用労働者等の割合  
全ての世代と同水準を維持

○ 働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保

## 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

○ 地方への移住・定着の推進

◆ UIターンによる起業・就業者数、6万人（2019年～2024年）等

○ 地方移住の推進  
○ 若者の修学・就業による地方への定着の推進

○ 地方とのつながりの構築

◆ 「関係人口」の創出・拡大に取り組む地方公共団体の数  
1,000団体

○ 関係人口の創出・拡大  
○ 地方への資金の流れの創出・拡大

## 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○ 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

◆ 第1子出産前後の女性継続就業率、70%（2025年）

○ 結婚・出産・子育ての支援  
○ 仕事と子育ての両立

○ 地域の実情に応じた取組の推進

## 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

○ 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

◆ 市町村域内人口に対して、居住誘導区域内の人口の占める  
割合が増加している市町村数、評価対象都市の2/3

○ 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実  
○ 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

○ 安心して暮らすことができるまちづくり

多様な人材の活躍を推進する

○ 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進  
○ 誰もが活躍する地域社会の推進

◆ 地域再生法等に基づき指定されている  
NPO法人等の数、150団体  
◆ 女性の就業率、82% 等

新しい時代の流れを力にする

○ 地域におけるSociety 5.0の推進  
◆ 未来技術を活用し地域課題を解決・改善した地方公共団体の数及びその課題解決・改善事例数、600団体・600件  
○ 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり  
◆ SDGsの達成に向けた取組を行っている都道府県及び市区町村の割合、60%

◆:KPIの項目、目標値及び目標年度(目標年度の記載のない項目の目標年度は2024年度)

<国の総合戦略 第1期、第2期の比較表>

	第1期	第2期	主な追加・変更点
基本目標1	地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする	稼ぐ地域をつくる <del>とともに</del> 、安心して働けるようにする	・稼ぐ地域及び魅力的な仕事の場の創出 ・専門人材の確保・育成
基本目標2	地方への新しいひとの流れをつくる	地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる	・関係人口の拡大・創出 ・企業版ふるさと納税の活用
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	・基本目標名称から「若い世代の」を削除
基本目標4	時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	・質の高い暮らしのためのまちの機能の充実 ・地域資源を活かした地域の形成
横断的な目標1		多様な人材の活躍を推進する	・多様な人材が活躍できる環境づくり ・地域の多文化共生の推進
横断的な目標2		新しい時代の流れを力にする	・Society5.0の実現 ・SDGsを原動力とした地方創生

第2期より追加

第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策体系

第1期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1:しごと活力創生プロジェクト 若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる
【施策1】地域の経済活動が盛んなまちをつくる
① 魅力ある職場づくりを促進する
② 産業の活性化を図る
【施策2】若い人たちの地元での就労を促進する
① 若い人たちと企業をつなぐ仕組みをつくる

第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標1:しごと活力創生プロジェクト 生産性が高く、働きがいを感じる企業が多いまちをつくる
【施策1】地域の経済活動が盛んなまちをつくる
① 魅力ある職場づくりを促進する
② 産業の活性化を図る
【施策2】若い人たちの地元での就労を促進する
① 若い人たちが働ける場をつくる
② 若い人たちと企業をつなぎ、人材の確保・育成を図る

基本目標2:ひとが集うまち創生プロジェクト 誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる
【施策1】若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する
① 住み続けられる住宅・環境を確保する
【施策2】とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる
① 古戦場を活かしたまちづくりの推進
【施策3】とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす
① 花の街プロジェクトの推進
② とよあけの魅力を発信する

基本目標2:ひとが集うまち創生プロジェクト 誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる
【施策1】若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する
① 住み続けられる住宅・環境を確保する
【施策2】とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる
① 地域資源を活かしたまちづくりを推進する
【施策3】とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす
① 人や企業とのつながりの創出、拡大を推進する
② とよあけの魅力を域内外へ発信する

基本目標3:子どもの学びと育ち創生プロジェクト 教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
【施策1】子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
① 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
② 男女の出会いの機会を創出する
【施策2】子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる
① 地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる
② 地域の特色を活かした教育を充実させる
【施策3】女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
① 職場で女性の活躍の場を増やす

基本目標3:子どもの学びと育ち創生プロジェクト 教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
【施策1】子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
① 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
【施策2】子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる
① 地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる
② 地域の特色を活かした教育を充実させる
【施策3】女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
① 職場で女性の活躍の場を増やす

基本目標4:暮らしの満足創生プロジェクト 医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる
【施策1】市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
① 多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる
【施策2】自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる
① 拠点駅機能を強化する
② 生活拠点が整った持続可能性の高い街が形成される

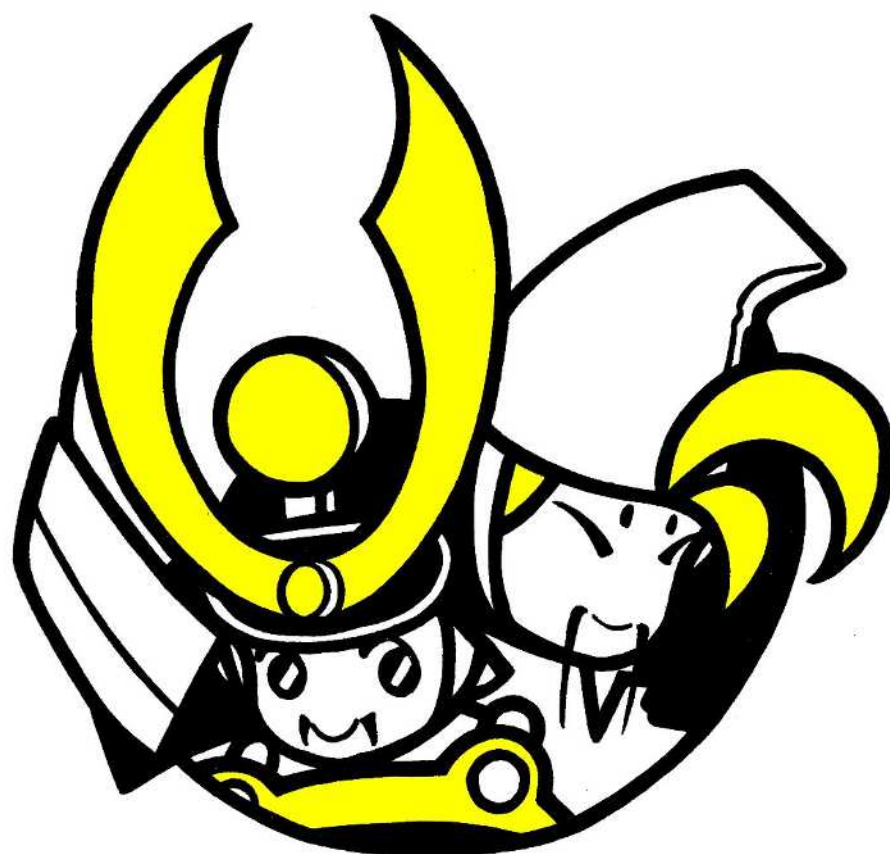
基本目標4:暮らしの満足創生プロジェクト 都市機能が充実し、安全・安心で暮らしの満足度の高いまちをつくる
【施策1】市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
① 多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる
【施策2】自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる
① 都市機能が充実した拠点を形成する
② 安全・安心で、利便性、持続可能性の高いまちをつくる

【第2期より追加する各基本目標を横断して実施する取組】

横断的な取組1:あらゆるひとが活躍できるまちをつくる
【視点1】 高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる
【視点2】 多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる
横断的な取組2:新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる
【視点1】 次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す
【視点2】 SDGsの達成に向けた取組を推進する



# 第2期 豊明市まち・ひと・しごと 創生総合戦略(案)



令和2年度～令和7年度



## 目次

はじめに.....	1
1. 第2期総合戦略策定の趣旨.....	1
<b>第1期「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果.....</b>	<b>2</b>
1. 基本目標における指標及び創生事業におけるKPIの進捗結果.....	2
基本目標1の評価結果.....	2
基本目標2の評価結果.....	2
基本目標3の評価結果.....	3
基本目標4の評価結果.....	3
2. 地方創生関係交付金対象事業.....	3
<b>第2期総合戦略の概要.....</b>	<b>4</b>
1. 概要.....	4
2. 策定期間.....	4
3. 人口ビジョンの位置づけ.....	4
人口の将来展望.....	5
豊明市人口の長期的な見通し.....	5
<b>基本目標1 しごと活力創生プロジェクト.....</b>	<b>8</b>
1. 基本目標の概要.....	8
2. 数値目標.....	8
3. 基本的な方向.....	8
4. 主な創生事業.....	8
施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる.....	8
施策2：若い人たちの地元での就労を促進する.....	9
<b>基本目標2 ひとが集うまち創生プロジェクト.....</b>	<b>10</b>
1. 基本目標の概要.....	10
2. 数値目標.....	10
3. 基本的な方向.....	10
4. 主な創生事業.....	10
施策1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する.....	10
施策2：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる.....	11
施策3：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす.....	11

<b>基本目標 3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト</b> .....	<b>12</b>
1. 基本目標の概要 .....	12
2. 数値目標 .....	12
3. 基本的な方向 .....	12
4. 主な創生事業 .....	13
施策 1：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる .....	13
施策 2：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる .....	13
施策 3：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる .....	13
<b>基本目標 4 暮らしの満足創生プロジェクト</b> .....	<b>14</b>
1. 基本目標の概要 .....	14
2. 数値目標 .....	14
3. 基本的な方向 .....	14
4. 主な創生事業 .....	14
施策 1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する ...	14
施策 2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる .....	15
<b>横断的取組 1 あらゆるひとが活躍できるまちをつくる</b> .....	<b>16</b>
1. 横断的な取組の概要 .....	16
2. 基本的な視点 .....	16
3. 主な創生事業（基本目標に位置付けられた創生事業から抜粋） .....	16
視点 1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる .....	16
視点 2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる .....	16
<b>横断的取組 2 新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる</b> .....	<b>17</b>
1. 横断的な取組の概要 .....	17
2. 基本的な視点 .....	17
3. 具体的な取組 .....	17
視点 1：次世代技術を利活用し、行政・住民サービスの向上を目指す .....	17
視点 2：SDGs の達成に向けた取組を推進する .....	18
<b>参考資料</b> .....	<b>19</b>
1. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体制 .....	20
2. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 .....	21

# はじめに

## 1. 第2期総合戦略策定の趣旨

地方創生は、東京圏への人口の過度の集中を是正し、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。2014年9月、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が制定され、内閣にまち・ひと・しごと創生本部が設置されました。同年12月には、2060年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（以下「長期ビジョン」という。）が策定され、併せてまち・ひと・しごと創生法に基づき、5か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた、第1期（2015年度から2019年度まで）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下第1期「総合戦略」）が策定されました。

国の枠組やまち・ひと・しごと創生法の趣旨を踏まえ、少子高齢化と人口減少という危機感を共有しながら、本市においても、国同様の期間で「豊明市人口ビジョン」（以下人口ビジョン）並びに第1期の「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下第1期総合戦略）を策定しました。

その後、2019年12月に国では「長期ビジョン」の改訂版と、2020年度を初年度とする第2期「総合戦略」を策定し、「継続は力なり」という姿勢を基本とし、地方創生の動きを更に加速していくとしています。

こうした動きのもと、本市においても、期間を延長した人口ビジョンにおいて掲げている2025年に71,000人、2060年に61,000人の人口を確保するという目標を堅持し、4つの基本目標に基づいた地方創生事業を推進しつつ、Society5.0<sup>1</sup>の実現や、SDGs<sup>2</sup>の推進など、時代に即した地方創生を、継続的かつ切れ目なく進めていくため、第2期の「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下第2期総合戦略）を策定しました。

<sup>1</sup> サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

<sup>2</sup> 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された持続可能な開発目標（詳細は16ページ記載）

# 第1期「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果

## 1. 基本目標における指標及び創生事業における KPI の進捗結果

第1期総合戦略については、基本目標ごとに指標を設定し、指標における目標値を達成するために、基本目標に紐づく施策である「創生事業」に重要業績評価指標（KPI）を設定することで進捗管理を行ってきました。

第1期総合戦略の最終年度である令和元年度の実績を、国の評価方法に準じて評価した結果、基本目標における指標については、全項目のうち 47.1%が目標に向け進捗しており、KPI については全項目のうち、64.2%が目標に向け進捗しているという結果となりました。各基本目標の進捗内訳は次のとおりです（詳細な内訳については、別紙「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI の評価結果について」（以下「KPI 評価結果」）に記載）。

基本目標		①目標達成に向け進捗している	②現時点では目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	③現時点では、統計上実績値の把握不可能なもの ※
1	指標	0 項目 (0.0%)	4 項目 (100.0%)	0 項目
	KPI	10 項目 (58.8%)	4 項目 (41.2%)	3 項目
2	指標	4 項目 (80.0%)	1 項目 (20.0%)	0 項目
	KPI	14 項目 (77.8%)	4 項目 (22.2%)	0 項目
3	指標	1 項目 (20.0%)	4 項目 (80.0%)	0 項目
	KPI	10 項目 (62.5%)	6 項目 (37.5%)	0 項目
4	指標	3 項目 (100.0%)	0 項目 (0.0%)	0 項目
	KPI	9 項目 (90.0%)	1 項目 (10.0%)	0 項目

※③については外的要因等により実施が困難なもの、未実施のもの等

### 基本目標 1 の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」7～10 ページ）

法人市民税額の減少については、税率変更等の外的要因による影響はあるものの、市民のうち市内で働きたいと思っている若者の割合など他の指標についても減少しており、働く場の創出や、若い人達が地元企業に就職したいと感じる魅力づくりなど、国の第2期総合戦略で掲げている「稼ぐ地域づくり」を一層推進していく必要があります。

### 基本目標 2 の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」11～14 ページ）

転入者数や市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数などが目標値を達成しており、「親との同居・近居購入費補助事業」、「花のまちとよあけ推進強化事業」などの創生事業により、市全体の魅力づくりには一定の効果を示すことができました。

た。第2期総合戦略では、さらにシビックプライド<sup>3</sup>の醸成や関係人口<sup>4</sup>の拡大・創出など市内外への魅力づくりを行っていきます。

### 基本目標3の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」15～18 ページ）

職場で働きやすいと思っている女性の割合については目標値を達成していますが、市内1000人あたりの出生率が横ばいであるのに対して、合計特殊出生率、0～14歳の子ども数などが減少しています。第2期総合戦略では、本市での子育てを楽しいと感じる市民の増加に向け、多世代交流施設の整備や、ネウボラ事業などの創生事業で一層の充実を図っていきます。

### 基本目標4の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」19～20 ページ）

医療や福祉施設、制度利用者の満足度などのすべての指標において目標値を達成しており、第1期総合戦略に位置付けられた創生事業の実施が市民の暮らしの満足度の増加につながったといえます。第2期総合戦略では、さらに多様な主体者が活躍できるまちづくりを目指します。

## 2. 地方創生関係交付金対象事業

「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づく地域再生計画に認定される地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業については、「地方創生推進交付金」の対象となり、国より交付対象事業費の1/2を上限として国からの支援を受けることができます（地方負担分についても財政措置があります。）。第1期総合戦略では次の創生事業が交付対象事業として認定を受けました。第2期総合戦略についても、地方創生関係交付金を積極的に活用できるよう創生事業の選定を行っています。

### 【地方創生推進交付金対象事業（第1期総合戦略）】

事業名	事業期間	交付金充当額総額 (R1まで)
地域ブランド「とよあけ花マルシェ」事業	H28-H30	5,925千円
駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業	H30-R2	3,500千円
高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業	H30-R2	11,270千円
人材確保定着支援事業（マチリク事業）	R1-R3	2,180千円
花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業	R1-R3	1,526千円

<sup>3</sup> 市民をはじめとした市に関わる多くの人々が、市に誇りと愛着をいただくこと

<sup>4</sup> 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々

## 第 2 期総合戦略の概要

### 1. 概要

国の掲げた 4 つの基本目標及び 2 つの横断的な目標を元に、市では 4 つの基本目標と 2 つの横断的取組を次のように設定し、豊明市における地方創生や、地域課題解決のため、第 5 次豊明市総合計画との整合性をとりながら取組を進めていきます。

また、第 2 期総合戦略では、SDGs（詳細 16 ページ）の理念に沿って地方創生を推進することとしているため、それぞれの基本目標に SDGs に設定されている 17 ゴールのうち、主なゴールを紐づけています。

基本目標	
基本目標 1	しごと活力創生プロジェクト
基本目標 2	ひとが集うまち創生プロジェクト
基本目標 3	子どもの学びと育ち創生プロジェクト
基本目標 4	暮らしの満足創生プロジェクト

横断的取組	
横断的取組 1	あらゆるひとが活躍できるまちをつくる
横断的取組 2	新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる

### 2. 策定期間

令和 2 年度から令和 7 年度までの 6 年間とし、第 1 期総合戦略から切れ目のない取組を実施していきます。

### 3. 人口ビジョンの位置づけ

本市は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国・愛知県の「長期ビジョン」を勘案しつつ、目指すべき将来の方向や、2060 年までの人口の将来展望を提示する「豊明市人口ビジョン」を策定しています。「豊明市人口ビジョン」では、2020 年の人口推計が 69,032 人（人口推計結果（次頁表 1））に対し、2020 年 3 月 31 日現在の人口 69,027 人（住民基本台帳（以下住基）ベース）と基本推計（趨勢による推計）と実績に大きな差異はないため、第 2 期総合戦略においても目標の下方修正等、人口ビジョンの改定は実施せず、人口ビジョンの期間を令和 7 年度まで延長することとし、2025 年に 71,000 人、2060 年に 61,000 人の人口を確保し、持続的な地域運営を目指すことを目標に、第 2 総合戦略を推進していきます。以下人口ビジョンより抜粋。



## 人口の将来展望

- 人の流れを変える                    人口の流出に歯止めをかけ、流入を目指す
- 出生率を向上させる                安心して出産、子育てができる環境、社会づくりを進める
- 活力ある地域をつくる            選ばれるまちになるために、まちの魅力を高める

## 豊明市人口の長期的な見通し

### ○基本推計（趨勢による推計）

- ・出生率    現状程度で推移（住基から算出した 1.39 で推移）
- ・社会移動   現状で推移（若い世代が継続流出）

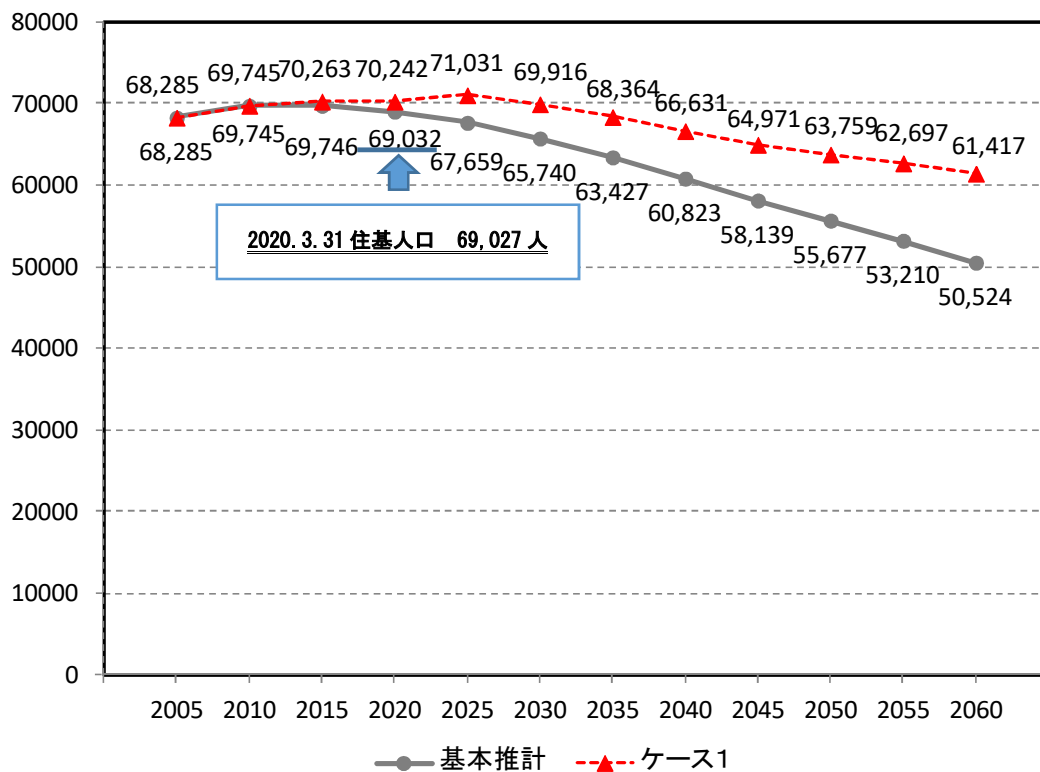
### ○想定ケース（施策実施後の推計）

- ・出生率    2040 年に 1.8 に上昇
- ・社会移動   計画予定の区画整理事業などの開発による人口増加を考慮



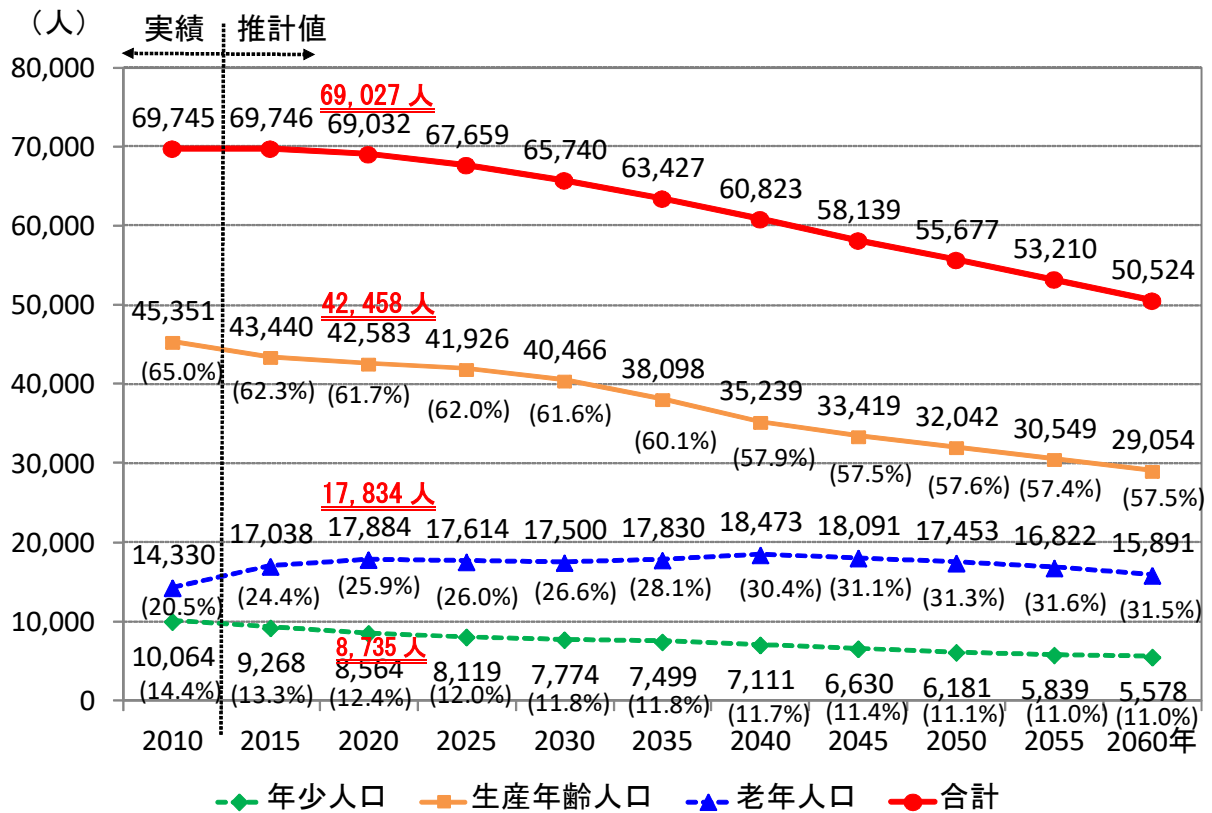
想定ケースが実施できれば、2025 年に 71,000 人、2035 年には 68,400 人がそれぞれ確保でき、2060 年も 61,000 人を確保できる。また、人口ピラミッドも安定的なものに推移し、持続的な地域運営が可能になる。

○表 1 豊明市人口推計結果（豊明市人口ビジョン抜粋）

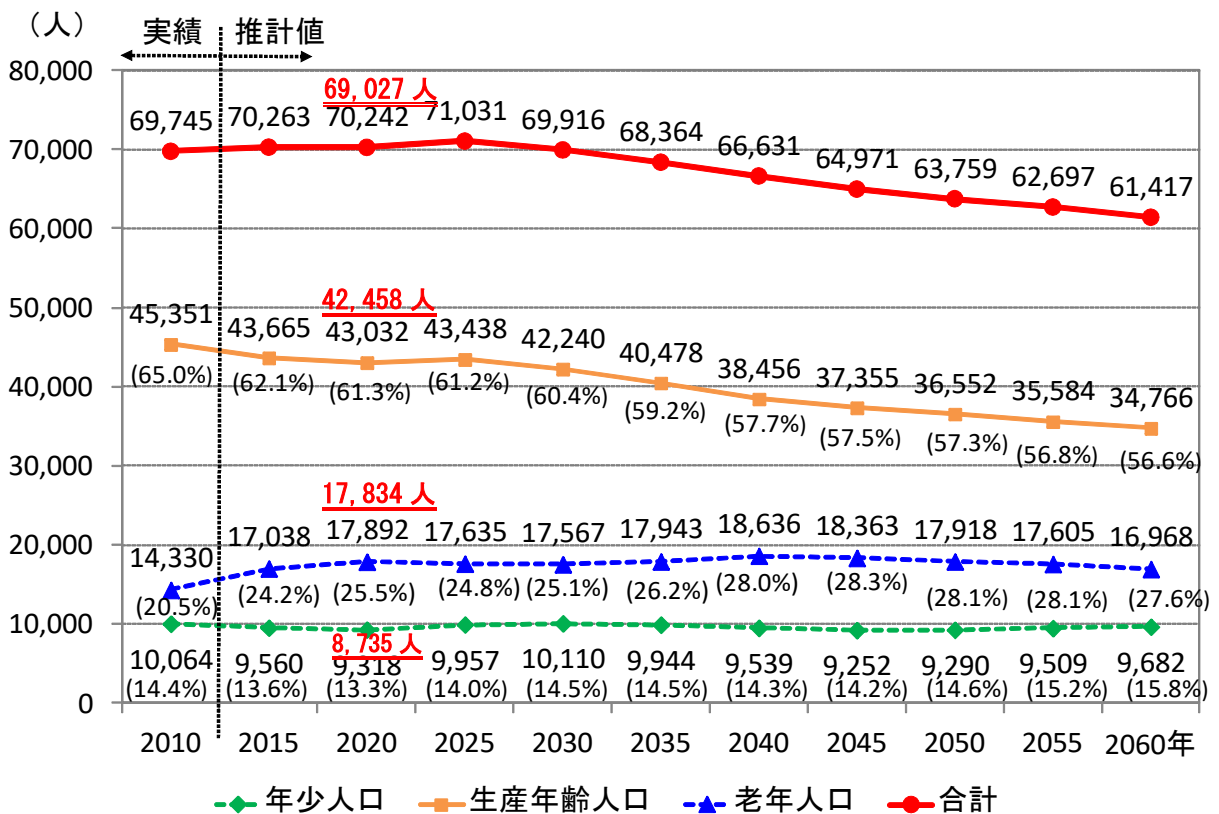


○表2 年齢3区分別の人口推計結果

基本推計（趨勢による推計） ※二重下線値は2020. 3. 31 住基人口（実績値）



想定ケース（施策実施後の推計）

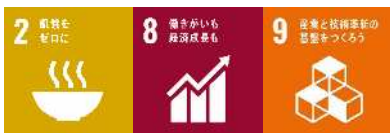


## 基本目標ごとの主な創生事業

# ○基本目標1

## しごとと活力創生プロジェクト

生産性が高く、働きがいを感じる企業が多いまちをつくる



### 1. 基本目標の概要

豊明市の雇用を支え続けることができるよう、市内企業の持続的な経営のための支援や、活発な起業・創業を促す環境を構築します。

併せて、軽トラ市の開催などにより、地域産業の活性化を図ります。

また、工業用地の整備検討や、企業立地に係る支援など、雇用の場の創出を進めていきます。人材確保定着事業やユニバーサル就労推進事業など、若者を含めたあらゆる人達が、豊明市で暮らし、働き続けることができるよう人材支援を行います。

### 2. 数値目標

指標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
法人市民税額※	589,317 千円	715,528 千円
創業・起業件数※	38 件	124 件
市内就業者のうち市内在住者数※	1,098 人	2,014 人
市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合※	46.5%	62.8%

(※：第5次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。)

### 3. 基本的な方向

施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる

施策2：若い人たちの地元での就労を促進する

### 4. 主な創生事業

施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる

①魅力ある職場づくりを促進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
起業・創業者支援事業	創業支援対象者数	人／年	41	55
新規就農者の受入れ事業	新規就農者数	人／年	2	2

## ② 産業の活性化を図る

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
軽トラ市の開催事業	軽トラ市開催数	回／年	10	13
空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗活用補助件数	件／年	0	2

## 施策 2：若い人たちの地元での就労を促進する

### ① 若い人たちが働ける場をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
企業立地支援事業	新規立地企業数	企業(累計)	11	40
工業団地整備検討事業	柿ノ木工業団地整備事業 進捗率	%	0	100
プロフェッショナル人材 等の就職支援事業	若年者就職相談件数	件／年	87	170

### ② 若い人たちと企業をつなぎ、人材の確保・育成を図る

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
社宅整備等支援事業	補助件数	件／年	4	10
人材確保定着支援事業 (マチリク事業)	地域同期による課題解決 に繋がったと回答した社 員の人数	人／年	10	20
ユニバーサル就労推進事 業	推進事業利用者の就労人 数	人／年	-	5

# ○基本目標 2

## ひとが集うまち創生プロジェクト

誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる



### 1. 基本目標の概要

名古屋市に隣接する立地特性を活かした若年世代や子育て世帯の移住・定住を促進するため、三世帯同居・近居、空き家の活用などを推進します。

また、「花の街とよあけ」としての魅力を高めるとともに、古戦場を活かしたまちづくりを進めるなど、豊明市の特徴的な地域資源のさらなる磨き上げを図り、市内外の人・民間企業と豊明市との関わる機会を増やし、シビックプライドの醸成及び関係人口の拡大・創出を目指します。

### 2. 数値目標

指標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
転出者数 (年間) ※	3,485 人	2,793 人
転入者数 (年間) ※	3,715 人	3,959 人
桶狭間古戦場関連の観光客数 (年間)	51,303 人	63,500 人
ふるさと納税の寄附金額※	24,340 千円	100,000 千円
市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数※	302 件	172 件

(※：第5次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。)

### 3. 基本的な方向

施策1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

施策2：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

施策3：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

### 4. 主な創生事業

施策1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

① 住み続けられる住宅・環境を確保する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
親との同居・近居購入費補助事業	補助件数	件(累計)	251	261
住居系市街地の整備促進事業	寺池土地地区画整理事業進捗率（事業費ベース）	%	1	100

施策2：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

① 地域資源を活かしたまちづくりを推進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
古戦場まつり開催事業（観光協会事業）	来場者数	人／年	35,480	40,000
史跡を活用した誘客事業	観光ガイドの利用客数	人／年	12,838	20,000
桶狭間関連商品の開発事業	桶狭間関連新商品開発数	商品(累計)	0	10

施策3：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

① 人や企業とのつながりの創出、拡大を推進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業	とよあけ花マルシェ商品の販売金額	千円／年	5,334	5,000

② とよあけの魅力を域内外へ発信する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
情報発信事業（観光事業）	観光 Web サイト年間閲覧件数	件／年	61,998	80,000
ホームページ管理事業	年間アクセス件数	万件／年	30	36

# ○基本目標 3

## 子どもの学びと育ち創生プロジェクト

教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる



### 1. 基本目標の概要

妊娠から出産、就学前までの子育て期の切れ目のない支援を行い、さらに、女性が活躍できる場を増やすなど地域一体となり、仕事と子育てを両立し子育てを見守り支えるまちづくりを推進します。

また、交流・まなび・あそび・子育て支援拠点の整備や学校運営協議会の設置などにより、地域と子どもとの関係をより密接なものにし、地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくりを行います。

併せて、教育の面でも地域の特性を生かして教育の機会の充実を図り、親が安心して働ける環境を整備します。

### 2. 数値目標

指標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
0～14 歳の子どもの数※	8,732 人	10,445 人
豊明市の出生率(人口 1,000 人に対する出生数)	8.0 人	10.1
合計特殊出生率	1.31 人	1.60 人
子育てが楽しいと思っている市民の割合※	83.4%	92.3%
職場で働きやすいと思っている女性の割合※	50.0%	56.7%
待機児童数 (10 月 1 日時点)	15 人	0 人

(※：第 5 次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。)

### 3. 基本的な方向

施策 1：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

施策 2：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

施策 3：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる



## 4. 主な創生事業

### 施策1：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

#### ① 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
ネウボラ事業	支援プラン作成件数	件／年	60	60
休日保育、延長保育事業	18:30 までの土曜日延長 保育実施割合	%	100	100
放課後子ども教室事業	実施校数	校	8	7
セーフティプラスワン事業	事業対象小学校数	校（累計）	-	5

### 施策2：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

#### ① 地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
交流・まなび・あそび・子育て支援拠点整備事業	延べ利用者数	人／年	-	60,000
学校運営協議会推進事業	学校運営協議会の設置数	箇所（累計）	1	12

#### ② 地域の特色を活かした教育を充実させる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
土曜学習実施事業	土曜学習参加者人数	人／年	81	88
定住外国人プレスクール・プレクラス事業	プレスクール等年間受け入れ人数	人／年	-	40

### 施策3：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

#### ① 職場で女性の活躍の場を増やす

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
男女共同参画講座	受講者数	人／年	159	188

# ○基本目標 4

## 暮らしの満足創生プロジェクト

都市機能が充実し、安全・安心で暮らしの満足度の高いまちをつくる



### 1. 基本目標の概要

豊明市と関わりを持つ人すべてが、様々な分野でお互いにつながりあう機会を創出し、多様な主体者が連携して行動できるようまちづくりを目指します。

併せて、立地適正化計画に基づき、日常生活に求められる機能がコンパクトに集約したまちづくりを推進するとともに、医療・介護・福祉環境や公共交通網が整備された、安全で安心して暮らし続けることができる環境を整備します。

### 2. 数値目標

指標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
医療や福祉施設、制度の利用者の満足度※	63.9%	67.7%
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合※	62.1%	73.0%
自分達の考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合※	16.1%	34.0%

(※：第5次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。)

### 3. 基本的な方向

施策1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

施策2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

### 4. 主な創生事業

施策1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

① 多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
いきいき笑顔ネットワーク事業	ICT で情報共有できている患者（高齢者）数	人(累計)	727	800
おたがいさまセンター「ちゃっと」事業	サポーター登録者数	人	266	350
ボランティアマッチング事業	マッチング件数	件(累計)	-	100
LGBT理解促進研修事業	受講者数	人(累計)	11	44

施策 2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

① 都市機能が充実した拠点を形成する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業（けやきいきいきプロジェクト事業）	高齢者等の相談件数	人／年	1,144	1,400
南部公民館機能充実事業	南部公民館の利用者数	人／年	31,007	36,000

② 安全・安心で、利便性、持続可能性の高い街をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (R1)	目標値 (R7)
高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業	1 便当たり乗車人数 (年平均)	人／便	1.6	2.1
コンビニ AED 設置	24 時間営業のコンビニの AED 設置率	%	100	100

# ○横断的取組 1

## あらゆるひとが活躍できるまちをつくる



### 1. 横断的な取組の概要

地域で人と人とのつながりをつくる機会を充実させ、市民一人ひとりが魅力づくりの担い手となり市民が総活躍できるまちを目指す取組を横断的に実施します。

### 2. 基本的な視点

視点1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる

視点2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる

### 3. 具体的な取組

#### 視点1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる

基本目標		施策		事業名
1	しごとと活力創生プロジェクト	2	②	ユニバーサル就労推進事業
4	暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	ボランティアマッチング事業
4	暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	日本語ボランティア養成事業

#### 視点2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる

基本目標		施策		事業名
3	子どもの学びと育ち創生プロジェクト	2	①	交流・まなび・あそび・子育て支援拠点整備事業
3	子どもの学びと育ち創生プロジェクト	2	①	学校運営協議会推進事業
4	暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	LGBT理解促進研修事業
4	暮らしの満足創生プロジェクト	4	①	おたがいさまセンター「ちゃっと」事業

# ○横断的取組 2

## 新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる



### 1. 横断的な取組の概要

第2期総合戦略に位置付ける創生事業において次世代技術を積極的に活用し、豊明市における地域課題の解決や、魅力向上を図ります。

また、SDGsの理念に沿って地方創生を推進し、誰一人取り残さない持続可能で多様性のあるまちの実現を目指します。

### 2. 基本的な視点

視点1：次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す

視点2：SDGsの達成に向けた取組を推進する

### 3. 具体的な取組

#### 視点1：次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す

基本目標	施策	事業名
4 暮らしの満足創生プロジェクト	1	① いきいき笑顔ネットワーク事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	2	① 高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業

## 視点 2 : SDGS の達成に向けた取組を推進する

### SDGS の推進について

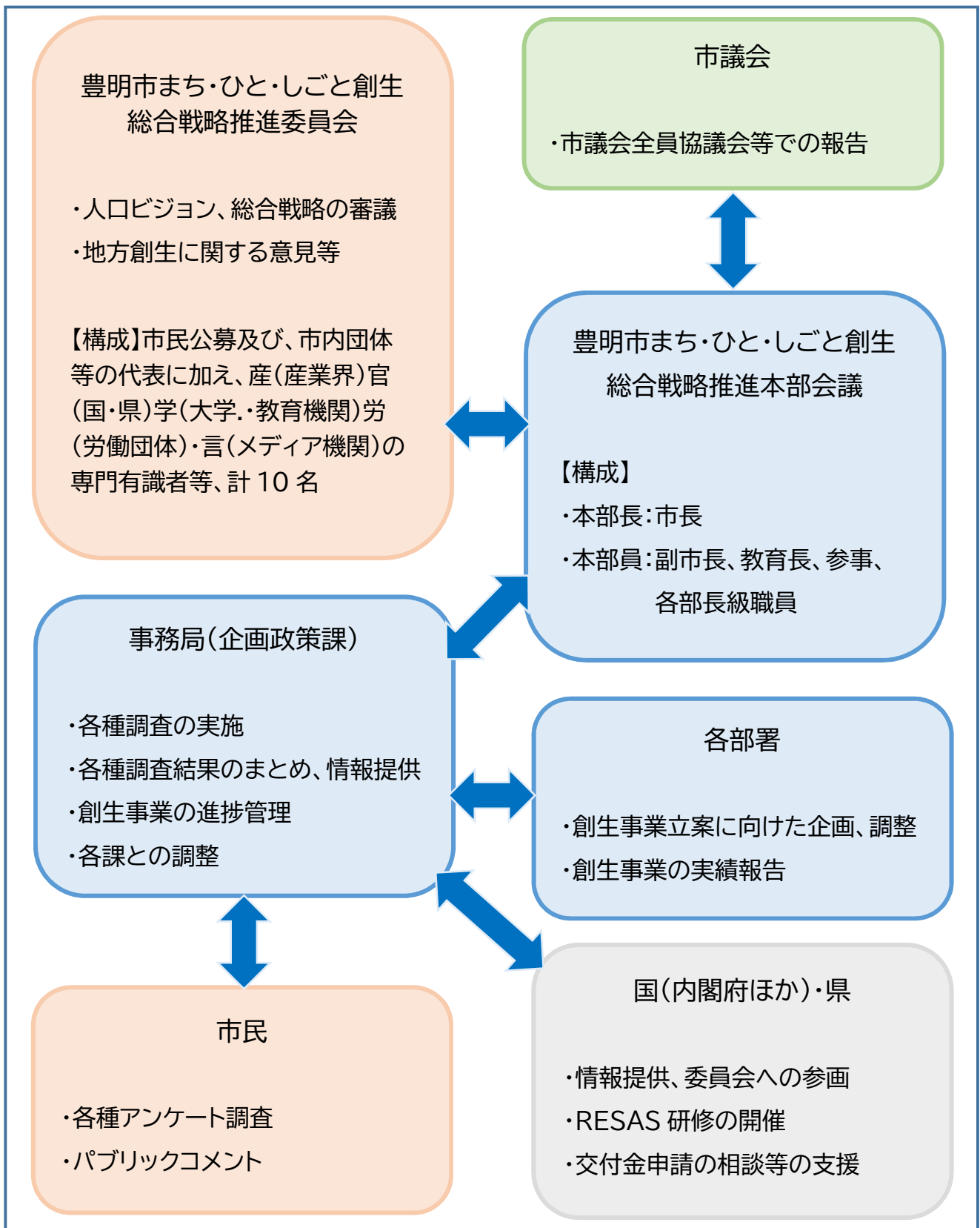
持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省HPより抜粋）



第2期総合戦略では、持続可能な開発目標（SDGs）に沿って地方創生の取組をより一層の充実・深化につなげていくこととします。SDGsで掲げられている17のゴールの達成に向け、基本目標ごとに関連する主なゴールを設定し、第2期総合戦略に位置付けられている創生事業を実施していきます。

參考資料

# 1. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体制





## 2. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

### 委員名簿

氏名		所属	役職等
1	岡本 一彦	あいち尾東農業協同組合	豊明基幹支店長
2	酒井 克俊	豊明市商工会	副会長
3	成瀬 友晃	名古屋鉄道株式会社	計画部計画課長
4	亀井 敏之	地方創生コンシェルジュ（愛知県担当） 中部経済産業局	地域経済部地域経済課長
5	佐治 幹夫	愛知県政策企画局	企画調整部地方創生課長
6	才藤 栄一	学校法人藤田学園	学長
7	根尾 文彦	学校法人桜花学園	教授
8	佐藤 元紀	連合愛知尾張東地域協議会	副代表
9	平木 友見子	中日新聞	記者
10	光岡 道則	市民公募	

### 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の検討経緯

開催日	議題
令和元年10月15日（火）	<ul style="list-style-type: none"> <li>創生事業平成30年度実績報告など</li> <li>次期総合戦略の策定について</li> </ul>
令和2年10月30日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告について</li> <li>第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について</li> </ul>

## 第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年度策定

豊明市 行政経営部 企画政策課

〒470-1195

愛知県豊明市新田町子持松1番地1

0562-92-1111(代表)

基本目標1

第1期総合戦略(63事業)

第2期総合戦略(56事業)

No.	基本	担当課・室	事業名	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位	H26	R1(H31)	目標値 R1	評価	No.	事業名2	事業内容及び変更点等	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位2	目標値 R7	変更点	
1	1	産業支援課	後継者育成・マッチング事業	マッチング件数	件(累計)	0	3	20	①B								削除
2	1	産業支援課	起業・創業者支援事業	創業支援事業計画による創業支援対象者数	人/年	0	41	50	①B	1	起業・創業者支援事業	創業支援計画に基づき、創業支援セミナーを実施する。(1セミナーでのカウント→2セミナーでのカウント)	創業支援対象者数	人/年	55		目標値の変更(上方)
3	1	産業支援課	空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗活用補助件数	件/年	0	0	2	②	2	空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗を活用した事業に対する賃料補助。	空き店舗活用補助件数	件/年	2		継続
4	1	産業支援課	市内中小企業の人材育成支援事業	受講者数	人(累計)	0	5	20	①B								削除
5	1	産業支援課	工業経営塾の実施事業	参加者数	件/年	20	0	15	②								削除
6	1	産業支援課	プロフェッショナル人材等の就職支援事業	無料職業紹介件数	件/年	158	87	170	②	3	プロフェッショナル人材等の就職支援事業	職業紹介事業の継続	若年者就職相談件数	件/年	170		継続
7	1	産業支援課	企業立地支援事業	新規立地企業数	企業(累計)	0	11	10	①A	4	企業立地支援事業	①企業立地相談窓口のワンストップ化、②工場新設に係る補助制度の周知、③企業訪問、御用聞き制度の実施。	新規立地企業数	企業(累計)	40		目標値変更(上方)
8	1	産業支援課	市内居住者雇用奨励制度の整備事業	新規雇用者数	人(累計)	0	0	20	③								削除
9	1	産業支援課	小規模企業実態調査	経営改善事業者数	事業者(累計)	0	111	100	①A								削除
	1	市街地整備課								5	工業団地整備検討事業	産業用地の整備の検討、実施を行うもの。	柿ノ木工業団地整備事業進捗率(事業内容ベース)	%	100		新規
10	1	産業支援課	ひきずり鍋の普及事業	参加店舗数	店(累計)	11	11	15	②								削除
11	1	産業支援課	軽トラ市の開催事業	軽トラ市回数	回/年	2	10	4	①A	6	軽トラ市の開催事業	井ノ花公園及び桜ヶ丘公園での軽トラ市の開催。	軽トラ市開催数	回/年	13		目標値変更(上方)
12	1	農業政策課	新規就農者の受入れ事業	年間新規就農者数	人/年	1	2	2	①A	7	新規就農者の受入れ事業	新規就農者に対して国の給付金の給付や、農地バンクの要件緩和により新規就農者を支援。	新規就農者数	人/年	2		継続
13	1	産業支援課	「とよあけ道の駅」設置検討事業	計画策定の進捗率	%	0	0	100	③								削除
14	1	産業支援課	消費喚起プレミアム商品券発行事業														削除
15	1	産業支援課	とよあけブランドづくり開発事業	地域ブランド化した商品数	商品(累計)	1	27	15	①A								2期No.24花マルシェ事業に統合
16	1	産業支援課	職業訓練学校等への入学支援事業	訓練生数	人/年	1	0	2	②								削除
17	1	産業支援課	社宅整備等支援事業	年間補助件数	件/年	0	4	10	①B	8	社宅整備等支援事業	従業員用の住宅の新築、新規賃貸契約物件の家賃、管理費の一部補助。	補助件数	件/年	10		継続
18	1	学校教育課	中学生の職場体験事業	職場体験実施事業所数(延べ数)	箇所/年	216	209	256	②	9	中学生の職場体験事業	中学2年生を対象とした市内外事業者での職場体験。	職場体験実施事業所数(延べ数)	箇所/年	256		継続
19	1	産業支援課	インターンシップ制度支援事業	受入参加企業、団体数	社/年	0	0	10	②								削除
20	1	産業支援課	市内企業への就職活動支援事業	企業合同説明会等開催回数	回/年	0	1	5	②	10	市内企業への就職活動支援事業	引き続き、企業合同説明会を実施する。	企業合同説明会等開催回数	回/年	5		継続
	1	産業支援課								11	人材確保定着支援事業(マチリク事業)	地域同期の概念のもと、合同で新入社員研修を実施するもの。	地域同期による課題解決に繋がったと回答した社員の人数	人/年	20		新規
	1	社会福祉課								12	ユニバーサル就労推進事業	市内の働きたい全ての人に対して日常生活、社会、就労における自立のための支援を行う。	推進事業利用者の就労人数	人/年	5		新規

基本目標2

第1期総合戦略(63事業)

第2期総合戦略(56事業)

No.	基本	担当課・室	事業名	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位	H26	R1(H31)	目標値R1	評価	No.	事業名2	事業内容及び変更点等	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位2	目標値R7	変更点
21	2	市街地整備課	住居系市街地の整備促進事業	前後駅周辺の居住人口(500m圏内)	人	5921	6121	6100	①A	13	住居系市街地の整備促進事業	寺池地区と間米南部地区の住宅地開発。	寺池土地区画整理事業進捗率(事業費ベース)	%	100	KPI変更
22	2	都市計画課	同居リフォーム促進事業	補助件数	件(累計)	0	0	30	②			3世代以上の同居のためのリフォーム工事に対する補助。⇒R1で事業終了のため削除。				削除
23	2	都市計画課	親との同居・近居購入費補助事業	補助件数	件(累計)	0	251	30	①A	14	親との同居・近居購入費補助事業	新築・購入の次年度以降の3年間における減額措置後の固定資産税相当額について、補助を実施。	補助件数	件(累計)	261	目標値変更(上方)
24	2	都市計画課	空き家リフォーム促進事業	補助件数	件(累計)	0	1	10	①B	15	空き家解体費補助事業	自己所有の戸建て住宅を条件としてリフォーム工事に対する補助⇒現在は、解体費補助。	補助件数	件(累計)	10	事業名変更
25	2	都市計画課	空き家対策の検討事業	調査のため成果指標なし					C			国費要件のために空家等対策計画を策定したものであり、事業完了として削除				削除
26	2	学校教育課	Uターン促進事業	入学支援金の貸付給付を受けた学生が、大学等卒業後に市内に定住した人数	人(累計)	0	8	60	①A			入学金の給付は廃止しており、貸付についても今後国策で無償化されていく方向のため削除。				削除
27	2	産業支援課	古戦場まつり開催事業(観光協会事業)	来場者数	人/年	30000	35480	32000	①A	16	古戦場まつり開催事業(観光協会事業)	桶狭間古戦場まつりの開催。6月第一土日。 古戦場のまちに因み、段ボールを使った甲冑作成教室を実施するもの。参加者は、教室で作った甲冑を着て古戦場まつりの武者行列に参加する。	来場者数	人/年	40000	目標値変更(上方)
28	2	産業支援課	甲冑製作補助事業(観光協会事業)	参加者数	人/年	30	30	30	②	17	甲冑製作補助事業(観光協会事業)		参加者数	人(累計)	180	単位、目標値変更(上方)
29	2	産業支援課	史跡を活用した観光拠点整備事業	観光ガイドの利用客数 レンタサイクル、カーシェアを利用した観光客数	人/年 人(累計)	11000 0	12838 45	15000 500	①B ①B	18	史跡を活用した誘客事業	先行型交付金を活用しPVやチラシ作成、ガイドボランティア待機所の設置、レンタサイクル、観光案内看板の設置等を実施した。なお、カーシェアについては実施しておらず、レンタサイクルはR2年度で終了のため KPIから削除。	観光ガイドの利用客数	人/年	20000	目標値変更(上方)
30	2	産業支援課	桶狭間関連商品の開発事業	フォーラム開催数	回/年	0	8	1	①A	19	桶狭間関連商品の開発事業	土産については、既存商品の販売促進を行う。PRに関しては、史跡を活用した誘客事業の中で実施。	桶狭間関連新商品開発数	商品(累計)	10	KPIの変更
31	2	産業支援課	桶狭間の合戦ウォーキングルート・拠点等の整備事業	観光関連ウォーキング参加者数	人/年	3000	2985	3500	②							2期No.16に統合
32	2	産業支援課	花の街とよあけの推進強化事業	講習会等の参加者数	人/年	1000	3756	2000	①A							2期No.24花マルシェ事業に統合
33	2	産業支援課	花のふるさと納税事業	ふるさと納税に対する花の送付件数	件/年	0	88	250	①B	20	花のふるさと納税事業		ふるさと納税に対する花関連の返礼数	件/年	150	目標値変更(下方)
34	2	産業支援課	中京競馬場を利用した花マーケットの開催事業	花マルシェの参加出店数	回/年	0	1	10	①B	21	中京競馬場を利用した観光(古戦場)の開催事業	集客力のある中京競馬場を活用したとよあけ花マルシェの出店⇒観光(古戦場)関連に修正。⇒花関連は振るわなかった。	観光ブースの出店回数	回/年	3	事業名、KPIの変更
35	2	産業支援課	情報発信事業(観光事業)	観光Webサイト年間閲覧件数	件/年	0	61998	20000	①A	22	情報発信事業(観光事業)		観光Webサイト年間閲覧件数	件/年	80000	目標値変更(上方)
36	2	秘書広報課	ホームページリニューアル事業	年間アクセス数	万件/年	19	30	36	①B	23	ホームページ管理事業	CMSへのリニューアルはH29年度に実施。	年間アクセス数	万件/年	36	事業名変更
	2	産業支援課								24	花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業(花マルシェ事業)	花のイメージ定着及び関連商品開発を行い、新産業の創出を目指す。	とよあけ花マルシェ商品の販売金額	千円/年	5000	新規(交付金)
	2	産業支援課								25	駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業	商工会青年部中心の実行委員会を主体とした駅前賑わい創出及び市内への経済循環波及を狙うもの。	駅前商店での飲食店の出店	件(累計)	4	新規(交付金)
	2	産業支援課								26	移住支援事業	東京圏から豊明市へ移住し、就業又は起業した方に移住支援金を支給するもの。	支援件数	支援件数	1	新規(交付金(県))
37	2	産業支援課	イベント創出事業(サミット・シンポジウムの開催)	サミット参加者数	人/年	0	0	3000	②			H29年度に民間主導で1度実施した。事業完了として削除				削除

基本目標3

第1期総合戦略(63事業)

第2期総合戦略(56事業)

No.	基本	担当課・室	事業名	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位	H26	R1(H31)	目標値 R1	評価	No.	事業名2	事業内容及び変更点等	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位2	目標値 R7	変更点		
38	3	保育課	病後児保育事業	病後児の預かり登録人数	人(累計)	0	463	200	①A	27	病後児保育事業	病後児保育を継続して実施。なお、現在病児保育は市で未実施。	病後児の預かり登録人数	人(年)	150	KPI(単位)の変更		
39	3	子育て支援課	ネウボラ事業	支援プラン作成件数	件/年	0	60	100	①B	28	ネウボラ事業		支援プラン作成件数	件/年	60	目標値変更(下方)		
40	3	保育課	休日保育、延長保育事業	18:30までの土曜日延長保育実施園数	%	0	100	100	①A	29	休日保育、延長保育事業	土曜日延長保育(18時半まで)を、引き続き100%を堅持する。	18:30までの土曜日延長保育実施割合	%	100	継続		
41	3	子育て支援課	産後ケア事業、産後健診事業	産婦健診助成事業による受診率	%	0	100	95	①A	30	産後ケア事業、産後健診事業	産後健診の補助券発行や産後ケア(H29～)の実施	産婦健診助成事業による受診率	%	100	目標値変更(上方)		
42	3	子育て支援課	不妊治療への助成事業	不妊治療助成件数	件/年	64	63	65	②	31	不妊治療への助成事業	本人負担額の1/2の上限額5万円⇒10万円に支援を拡充。	不妊治療助成件数	件/年	65	継続		
43	3	保育課	駅前での子育て世代支援事業	前後駅前での保育施設数	箇所	0	0	1	③	32	駅前での子育て世代支援事業	前後駅周辺の施設内で小規模保育を実施する。	前後駅前での保育施設数	箇所	1	継続		
44	3	保育課	社会参加への支援事業	非定型的保育の利用延べ人数	人	304	437	960	①B	33	一時預かり事業	子育て世帯の社会参加を促すため、一時保育事業の拡充を行う。	一時保育の延受入人数(1日人数×年間日数)	人	4200	事業名、KPI変更		
45	3	子育て支援課	男性に特化した子育て講座事業	妊娠期子育て期の親向けの教室(マタニティクラス)参加者のうち男性の占める割合	%	29.6	30.7	35	①B	34	男性も参加できる子育て講座事業	特化した事業は今後も実施する予定なし。マタニティクラスを、妊婦だけでなくパートナーも参加しやすいよう土日開催も実施している。	妊娠期子育て期の親向けの教室(マタニティクラス)参加者のうち男性の占める割合	%	35	事業名称変更		
				講座の開催回数	回/年	0	0	1	②									
3	3	企画政策課								35	交流・まなび・あそび・子育て支援拠点整備事業	閉校となる小学校施設を活用した子育て支援、多世代・多文化交流、生涯学習等の機能を集約した複合施設の整備事業。	延べ利用者数	人/年	60000	新規(交付金)		
3	3	学校教育課								36	学校運営協議会推進事業	地域ごとに地域応援団としてどのような子どもを育てるか等の目標を検討、学校と共有し、一体となって育む	学校運営協議会の設置数	箇所(累計)	12	新規		
46	3	産業支援課	企業への啓発事業	広報及びHP、チラシ等によるイクメン・イクボス推進PR回数	回/年	0	0	4	③			企業へのイクメン、イクボスの考え方を浸透させるため、PRを行うもの。 ⇒未実施のため削除				削除		
47	3	産業支援課	婚活支援事業	婚活イベント参加者数	人(累計)	65	0	400	③			婚活イベント ⇒未実施のため削除				削除		
48	3	生涯学習課	放課後子ども教室事業	実施校数	校	5	8	9	①B	37	放課後子ども教室事業	放課後の子どもの居場所づくりとして開催する。	実施校数	校	7			
				ボランティア数(人・団体)	人(団体)	18	7	40	②								200	
3	3	学校教育課								38	セーフティプラスワン事業	低学年児童の5時限目の授業後に1時限分の学習活動を行い、居場所づくり及び安全安心な下校を行うもの。	事業対象小学校数	校(累計)	5	新規		
49	3	学校教育課	土曜学習実施事業	土曜学習参加者人数	人/年	0	81	60	①A	39	土曜学習実施事業	塾に通っていない中学生への学習支援として土曜学習を開催するもの。	土曜学習参加者人数	人/年	88	目標値変更(上方)		
50	3	学校教育課	英語活用能力アップ事業	イングリッシュキャンプ参加者人数	人/年	0	57	40	①A	40	英語活用能力アップ事業	小学生を対象とした市内でのデイキャンプ	イングリッシュキャンプ参加人数(小学校)	人	40	KPIの分割		
				中学生を対象とした豊根村での宿泊キャンプの実施	イングリッシュキャンプ参加人数(中学校)	人	15	KPIの分割										
			延べ参加人数	人/年	83	0	138	②			星城高校でじっしする英語検定対策講座に市内小中学生を参加させていたが、講座が実施されなくなったため、削除。					削除		
3	3	学校教育課								41	定住外国人プレスクール・プレクラス事業	外国にルーツを持つ子どもに対して、日本語及び生活習慣について習得する機会をつくり、円滑な学校生活への適応を図るもの。	プレスクール等年間受け入れ人数	人/年	40	新規		
51	3	生涯学習課	地域の特性を生かしたスポーツ・文化講座の開設・充実事業	スポーツ教室受講者数	人/年	508	501	530	②	42	地域の特性を生かした文化講座の開設・充実事業	スポーツ教室は、指定管理者の実施のため外した。文化講座は生涯学習課で実施しているため、KPIを変更した。	文化講座開催数	回/年	16	事業名、KPIの変更		
52	3	産業支援課	女性活躍推進セミナーの開催事業	セミナー等参加者数	人(累計)	0	69	20	①A			商工会と連携しH28のみ実施。 ⇒市民協働課の第2期No.41の男女共同参画講座に移行したい。				削除		
53	3	保育課	女性の復職支援プログラム事業	プログラムを利用して復職した人の数	人(累計)	0	0	40	②	43	女性の復職支援プログラム事業	潜在保育士の復帰支援及び子育て支援員の養成研修を引き続き実施する。	プログラムを利用して復職した人の数	人(累計)	5	目標値変更(下方)		
3	3	市民協働課								44	男女共同参画講座	女性の社会進出、男性の家庭進出のための講座の開催。	受講者数	人/年	188	新規		
3	3	市民協働課								45	日本語ボランティア養成事業	日本語ボランティアを養成するための基礎知識や手法を講義するもの。	講座の参加人数	人(累計)	100	新規		

基本目標4

第1期総合戦略(63事業)

第2期総合戦略(56事業)

No.	基本	担当課・室	事業名	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位	H26	R1(H31)	目標値R1	評価	No.	事業名2	事業内容及び変更点等	KPI※事業実施による成果指標(アウトカム)	単位2	目標値R7	変更点
54	4	健康長寿課	いきいき笑顔ネットワーク事業	ICTで情報共有できている患者(高齢者)数	人(累計)	392	727	600	①A	46	いきいき笑顔ネットワーク事業	高齢者の医療介護に関する情報をICTネットワークを通じて多職種で共有し、支援を行うもの。将来的にはデータベース化、分析を行いたい。	ICTで情報共有できている患者(高齢者)数	人(累計)	800	目標値変更(上方)
55	4	健康長寿課	医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業(けやきいきいきプロジェクト事業)	高齢者等の相談件数	人/年	0	1144	500	①A	47	医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業(けやきいきいきプロジェクト事業)	けいやくいきいきプロジェクトにより整備した生活支援拠点により高齢者の生活を支援するもの。	高齢者等の相談件数	人/年	1400	目標値変更(上方)
	4	市民協働課								48	LGBT理解促進研修事業	全ての市民の人権を尊重し、多様な生き方を互いに認め合い、誰もがこころ豊かに暮らせる街を目指し、LGBT理解促進研修を実施するもの。	受講者数	人(累計)	44	新規
	4	市民協働課								49	ボランティアマッチング事業	ボランティアをしたい人と受け入れたい人がそれぞれ登録し、マッチングを行うもの。	マッチング件数	件(累計)	100	新規
	4	健康長寿課								50	おたがいさまセンター「ちゃっと」事業	掃除や買い物等、ちょっとしたことを頼みたい人、助けたい人をマッチングするもの	サポーター登録者数	人	350	新規
56	4	産業支援課	駅前賑わい創出事業	マルシェの参加出店数	店(累計)	0	64	80	①B			エキカツに統合				2期No.25エキカツ事業に統合
57	4	市民課・市役所出張所	前後駅周辺の都市交通機能、住民サービス機能、市民交流機能等の充実事業	証明等交付件数のうち駅前市役所出張所での交付割合	%	0	8	20	①B			証明発行率の向上は見込めないとのことで削除するが、その他の指標を検討する。				削除
	4	生涯学習課 図書館				31,007				51	南部公民館機能充実事業		南部公民館の利用者数	人/年	36,000	新規
58	4	産業支援課	駅前活性化事業	バルネス来場者数	千人/年	1624	1391	1800	②			エキカツに統合				2期No.25エキカツ事業に統合
59	4	子育て支援課	医療施設の充実事業	小児科、産婦人科の施設数	箇所	3	5	5	①A			小児科、産婦人科の施設数を充実するもの。 ⇒現状、新たに建設する動きがないため削除				削除
60	4	企画政策課	地域公共交通の利便性向上事業	ひまわりバス利用者数	万人/年	15	16.7	17	①B	52	地域公共交通の利便性向上事業	地域公共交通網形成計画の策定及びコミュニティバスの路線再編。	コミュニティバス利用者数	万人/年	22.2	目標値変更(上方)
61	4	防災防犯対策課	コンビニAED設置事業	24時間営業のコンビニのAED設置率	%	0	100	100	①A	53	コンビニAED設置事業	上限値に達しているが、引き続き100%を維持するもの。	24時間営業のコンビニのAED設置率	%	100	継続
62	4	市民協働課	まちづくりNPO支援事業	年間支援件数	件/年	6	11	16	①B	54	NPO支援事業	市民提案型まちづくり事業により、市民活動団体の自立を支援する。	年間支援件数	件/年	12	
63	4	環境課	再生可能エネルギー推進事業	エネファーム(燃料電池)システム導入補助件数	件(累計)	1	15	50	①B	55	再生可能エネルギー推進事業	新エネルギーシフトを実践する市民に対して設置費用の補助を実施するもの。⇒R2でエネファーム補助が終了する可能性があるため、累計とする。	エネファーム(燃料電池)システム導入補助件数	件(累計)	175	目標値変更(上方)
	4	企画政策課								56	高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業	高齢者等お出かけに不便を感じている住民の生活維持と健康増進を図るため、オンデマンド型乗合タクシー事業のチョイソコとよあけを運行するもの。	1便当たり乗車人数(年平均)	人/便	2.1	新規(交付金)

## 第2期 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)

### 人口ビジョン

#### 人口減少問題の克服

#### 人口の確保

2060年 **61,000人**

持続的な地域運営が可能に

#### ◆人の流れを変える

- 「若い世代の人口流出をストップ」
- ・住宅の供給などにより、ファミリー世代の人口流出を抑制
- ・市内在勤者の市内居住を進める

#### ◆出生率を向上させる

- 「2040年までに1.8へ上昇」
- ・安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
- ・子育てしながら働き活躍できる社会づくり

#### ◆活力ある地域をつくる

- 「まちの魅力を高め、選ばれるまちに」
- ・あらゆるひとの生き甲斐につながる「学びのまち」の推進
- ・働ける場の創出、地域産業の活性化
- ・安全・安心で賑わいのあるまちづくり

## 第2期 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度から令和7年度まで 6カ年)

### 基本目標

※下線は新たに総合戦略に追加・修正したもの

#### 1. しごとと活力創生プロジェクト

生産性が高く、働きがいを感じる企業が多いまちをつくる

- 施策1: 地域の経済活動が盛んなまちをつくる
  - 魅力ある職場づくりを促進する
  - 産業の活性化を図る
- 施策2: 若い人たちの地元での就労を促進する
  - 若い人たちが働ける場をつくる
  - 若い人たちと企業をつなぎ、人材の確保・育成を図る

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・起業・創業者支援事業・新規就農者の受け入れ事業
- ・軽トラ市の開催事業・プロフェッショナル人材等の就職支援事業
- ・企業立地支援事業・工業団地整備検討事業
- ・社宅等整備等支援事業・人材確保定着支援事業(マチリク事業)
- ・ユニバーサル就労推進事業

#### 2. ひとが集うまち創生プロジェクト

誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる

- 施策1: 豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する
  - 住み続けられる住宅・環境を確保する
- 施策2: とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる
  - 地域資源を活かしたまちづくりを推進する
- 施策3: とよあけの魅力を高め、訪れ、共に魅力を感じ合う人を増やす
  - 人や企業とのつながりの創出、拡大を推進する
  - とよあけの魅力を域内外へ発信する

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・親との同居・近居購入費補助事業・桶狭間関連商品の開発事業
- ・古戦場まつり開催事業(観光協会事業)・花のふるさと納税事業
- ・住居系市街地の整備促進事業・エキカツ事業・花マルシェ事業

#### 3. 子どもの学びと育ち創生プロジェクト

教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

- 施策1: 子どもを安心して産み育てられるまちをつくる
  - 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる
- 施策2: 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる
  - 地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる
  - 地域の特色を活かした教育を充実させる
- 施策3: 女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる
  - 職場で女性の活躍の場を増やす

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・ネウボラ事業・休日保育、延長保育事業
- ・多世代交流設備整備事業・豊明市学校運営協議会推進事業
- ・土曜学習実施事業・英語活用能力アップ事業
- ・男女共同参画講座・セーフティプラスワン事業

#### 4. 暮らしの満足創生プロジェクト

都市機能が充実し、安全・安心で暮らしの満足度の高いまちをつくる

- 施策1: 市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるように整備する
  - 多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる
- 施策2: 自然を確保しながら生活に不自由のないまちをつくる
  - 都市機能が充実した拠点形成する
  - 安全・安心で、利便性、持続可能性の高いまちをつくる

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・いきいき笑顔ネットワーク事業・LGBT理解促進研修事業
- ・ボランティアマッチング事業・コンビニAED設置事業
- ・チョイソコとよあけ事業・けやきいきいきプロジェクト事業

### 横断的取組

#### 1. あらゆるひとが活躍できるまちをつくる

- 視点1 高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる
- 視点2 多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・ユニバーサル就労支援事業・ボランティアマッチング事業・日本語ボランティア養成事業
- ・多世代交流館整備事業・LGBT理解促進研修事業
- ・豊明市学校運営協議会推進事業・おたがいさまセンター「ちゃっと」事業

#### 2. 新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる

- 視点1 次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す
- 視点2 SDGsの達成に向けた取組を推進する

##### 【具体的な創生事業の例】

- ・いきいき笑顔ネットワーク事業・チョイソコとよあけ事業
- ・SDGsの理念に沿った地方創生事業の推進